第2日 5月11日(金)

開会式 ST

(第1会場:仙台国際センター・会議棟 2F 大ホール, 9:30~9:45)

会長講演 ST

(第1会場:仙台国際センター・会議棟 2F 大ホール, 9:45~10:20) コホート研究からゲノム医療へ

 座長:名古屋大学
 吉 川 史 隆

 演者:東北大学
 八重樫 伸 生

シンポジウム 1 (腫瘍) P ST

(第1会場:仙台国際センター・会議棟 2F 大ホール, 13:15~16:15) 婦人科がん治療戦略としての個別化医療の展開~基礎から臨床へ~

座長:島根大学 京 山形大学 永 瀬 1) 婦人科遺伝性腫瘍およびがんゲノム異常の解析とゲノム医療実用化に向けた取り組み 平 沢 演者:慶應義塾大学 晃 2) 卵巣がんの臨床的特徴をバイオマーカーとした新規治療標的の大規模探索 豊島将文 演者:東北大学 3) 高リスク子宮体癌、特に漿液性癌に対する個別化治療法開発に向けた基礎研究 演者:京都大学 馬場 长 4) 癌幹細胞の個別化とそれに対応した個別化医療の開発~子宮頸癌を中心に 足立克之 演者:埼玉県立がんセンター 東京大学

教育講演 1

(第1会場:仙台国際センター・会議棟 2F 大ホール、 $16:20\sim16:50$) 絨毛性腫瘍の病態と診療—Pitfall に陥らないために—

 座長:東京女子医科大学
 松 井 英 雄 演者:和歌山県立医科大学

 井 箟 一 彦

教育講演 2

(第2会場:仙台国際センター・会議棟 2F 橘, 16:20~16:50)

婦人科腫瘍における precision medicine の現況と展望

 座長: 慶應義塾大学
 青木大輔

 演者: 新潟大学
 榎本隆之

教育講演3

(第3会場:仙台国際センター・会議棟 2F 萩, 16:20~16:50)

サイトメガロウイルス母子感染

 座長: 宮崎大学
 鮫 島 浩

 演者: 神戸大学
 山 田 秀 人

生涯研修プログラム1

(第2会場:仙台国際センター・会議棟 2F 橘,8:00~9:20)

思春期悪性腫瘍への対応

座長:千葉大学 生 水 真紀夫

筑波大学 佐藤豊実

1) がん・生殖医療における妊孕性温存はどこまで可能か一その適応は?

演者:聖マリアンナ医科大学 鈴木 直

2) 周産期の立場から

演者:三重大学 池 田 智 明

3) ヘルスケアの立場から

演者:福島県立医科大学ふくしま子ども・女性医療支援センター

髙 橋 俊 文

生涯研修プログラム2

(第3会場:仙台国際センター・会議棟 2F 萩,8:00~9:20)

切迫早産の新しい概念と管理法

座長:慶應義塾大学 田中守

岡山大学 増 山 寿

1) short tocolysis とペッサリーによる新しい切迫早産管理

演者:宮城県立こども病院,東北大学 室 月 淳

2) 早産予防とプロゲステロン

演者:日本医科大学 中 井 章 人

3) 子宮頸管ペッサリーによる切迫早産治療法

演者:名古屋市立大学 尾 崎 康 彦

生涯研修プログラム3

(第4会場:仙台国際センター・会議棟 2F 桜1,8:00~9:20)

不妊症の up to date

 座長: 秋田大学
 寺田 幸弘

 帝京大学
 綾部 琢哉

1) 慢性子宮内膜炎の病態

演者:滋賀医科大学 木 村 文 則

2) 黄体機能不全の病態と治療

演者:山王病院 藤 原 敏 博

3) 男性不妊と顕微授精と次世代

演者:東北大学 立 花 眞 仁

生涯研修プログラム4

(第2会場:仙台国際センター・会議棟 2F 橘, 10:30~11:50)

家族性・遺伝性腫瘍

 座長:東北医科薬科大学
 渡部
 洋

 久留米大学
 牛嶋公生

1) 遺伝性卵巣がんの診療とサーベイランス

演者:新潟大学 関根正幸

2) 遺伝性・家族性腫瘍としての子宮体癌~リンチ症候群を中心に~

演者:秋田大学 佐藤直樹

3) 遺伝性婦人科癌に対する遺伝カウンセリング

演者:慶應義塾大学 植木 有 紗

生涯研修プログラム5

(第3会場:仙台国際センター・会議棟 2F 萩、10:30~11:50)

胎児疾患の超音波診断

 座長:日本医科大学
 竹 下 俊 行

 岩手医科大学
 菊 池 昭 彦

1) 胎児脳異常診断のコツと裏技

演者:クリフム夫律子マタニティクリニック 夫 律 子

2) 胎児心臓超音波検査初級から上級まで

演者:昭和大学 松 岡 隆

3) 胎児の骨系統疾患

演者: 山形大学 堤 誠 司

生涯研修プログラム6

(第2会場:仙台国際センター・会議棟 2F 橘, 17:00~18:20)

婦人科がん手術のための手術解剖学

座長:京都大学 万代昌紀

福井大学 吉 田 好 雄

1) 手術解剖からみた腟式手術

演者:札幌医科大学 齋 藤 豪

2) リンパ流を意識した手術解剖学

演者:東北大学 新 倉 仁

3) 腹腔鏡・ロボット広汎子宮全摘出術に必要な手術解剖:他科骨盤外科との比較から

演者: 鹿児島大学 小 林 裕 明

生涯研修プログラム7

(第3会場:仙台国際センター・会議棟 2F 萩, 17:00~18:20)

周産期メンタルヘルス

座長:川崎医科大学 下屋 浩一郎

防衛医科大学校 古谷健一

1) 周産期メンタルヘルス診療指針 2017

演者:葛飾赤十字産院 鈴木俊治

2) 妊産婦の自殺を防ぐために

演者:大阪母子医療センター 光 田 信 明

3) 向精神薬と妊娠・授乳

演者:順天堂大学越谷病院メンタルクリニック 鈴 木 利 人

会長特別企画 1 ₽

(第1会場:仙台国際センター・会議棟 2F 大ホール, 17:00~18:20)

災害時の周産期医療と危機管理

 座長:北里大学
 海 野 信 也

 杏林大学
 岩 下 光 利

1) 災害時の周産期危機管理

演者:東北大学

菅 原 進 一

2) 災害時の周産期ネットワーク

演者: 久留米大学

建 田 尚 武

3) 熊本地震が周産期医療に及ぼした影響

演者:熊本大学 坂 口 勲

プロ11 グ日 ラ

医療倫理講習会 🏻 (事前登録制)

(第1会場:仙台国際センター・会議棟 2F 大ホール, 8:20~9:20)

臨床研究に関する法令において研究者と組織が対応すべきこと

座長: 徳島大学 演者: 東北大学 节 原 稔 高 野 史 去

医療倫理講習会 🏻 (ビデォ上映・事前登録制)

(第17 会場:東北大学百周年記念会館 2F 川内萩ホール, 13:30~14:30) 臨床研究に関する法令において研究者と組織が対応すべきこと

医療安全講習会 P (事前登録制)

(第1会場:仙台国際センター・会議棟 2F 大ホール, 10:40~11:40)

医療安全 (事例紹介)

 座長:京都府立医科大学
 北 脇 城

 演者:群馬大学
 峯 岸 敬

医療安全講習会 🏻 (ビデォ上映・事前登録制)

(第17 会場:東北大学百周年記念会館 2F 川内萩ホール, 14:50~15:50) 医療安全 (事例紹介)

海外招請講演 1

(第12 会場: 仙台国際センター・展示棟 会議室 1, 10:40~11:10)

Precision Medicine: New Frontier in Women's Health

Chair: The University of Tokyo

Yutaka Osuga

Speaker: University of California, USA

Linda Giudice

海外招請講演 2

(第13会場:仙台国際センター・展示棟 会議室2,10:40~11:10)

Genetics of Pre-eclampsia

Chair: Saitama Medical Center, Saitama Medical University

Hiroyuki Seki

Speaker: Tampere University Hospital, Finland

Hannele Laivuori

海外招請講演3

(第12会場:仙台国際センター・展示棟 会議室1,11:10~11:40)

Reducing the Rate of Preterm Birth - Results of a State-wide Implementation Program

Chair: Mie University Tomoaki Ikeda

Speaker: The University of Western Australia, Australia

John Newnham

海外招請講演 4

(第13会場:仙台国際センター・展示棟 会議室2,11:10~11:40)

Personalized Cancer Models for Discovery and Development of Novel Therapeutic Targets

Chair: Osaka Medical College Masahide Ohmichi

Speaker: Fred Hutchinson Cancer Research Center, USA

Christopher Kemp

海外招請講演 5

(第13会場:仙台国際センター・展示棟 会議室2.16:20~16:50)

How Has Our Understanding of Abnormal Uterine Bleeding (AUB) Changed during the Last Decade?

Chair: Nihon University Kei Kawan

Speaker: Ninewells Care Mother and Baby Hospital, Sri Lanka

Rohana Haththotuwa

海外招請講演6

(第14会場:仙台国際センター・展示棟 会議室3,16:20~16:50)

Optimisation of Antenatal Steroid Therapy

Chair: University of Miyazaki Yuki Kodama

Speaker: The University of Western Australia, Australia

Matthew Kemp

海外招請講演7

(第 15 会場:仙台国際センター・展示棟 会議室 4, 16:20~16:50) A Search Engine of Personalized Treatments for Ovarian Cancer

Chair: Kyushu University

Kiyoko Kato
Speaker: SEngine Precision Medicine, USA

Carla Grandori

海外招請講演 8 (Web 講演)

(第12会場:仙台国際センター・展示棟 会議室1,17:00~17:30)

Screening and Prevention of Preeclampsia

Chair: University of Toyama Shigeru Saito Speaker: King's College London, UK Kypros Nicolaides

海外招請講演 9

(第13会場:仙台国際センター・展示棟 会議室2,17:30~18:00)

Management of Preterm Labor, Delivery and Newborn at National Hospitals in Cambodia

Chair: Osaka University Tadashi Kimura Speaker: Cambodian Society of Gynecology and Obstetrics,

Cambodia Sann Chan Soeung

海外招請講演 10

(第 14 会場:仙台国際センター・展示棟 会議室 3,17:30~18:00) Prenatal Programming, Epigenetics and Transgenerational Outcomes

Chair: Hiroshima University Yoshiki Kudo

 $Speaker: University\ of\ Toronto\ and\ The\ Lunenfeld-Tanenbaum$

Research Institute, Sinai Health Systems, Canada

Stephen Matthews



海外招請講演 11

(第15会場:仙台国際センター・展示棟 会議室4,17:30~18:00)

Gene Correction in Human Embryos

Chair: Akita University Yukihiro Terada

Speaker: Center for Embryonic Cell and Gene Therapy, Oregon

Health & Science University, USA

Shoukhrat Mitalipov

日韓台ジョイントカンファレンス (2nd J-K-T Joint Conference) ① P

(第5会場:仙台国際センター・会議棟 2F 桜2, 10:30~11:10)

Opening Remarks

Speaker: The University of Tokyo/JSOG Chairperson

Tomoyuki Fujii

Kuo General Hospital/TAOG President

Tsung-Cheng Kuo

1. 周産期 (Perinatology)

Chair: Osaka University/JSOG

Tadashi Kimura

Ewha Womans University/KSOG

Woong Ju

1) Acute Myometritis in Refractory Postpartum Hemorrhage: The Underlying Pathology and the Development of Novel Treatment for Uterine-type Amniotic Fluid Embolism

Speaker: Hamamatsu University School of Medicine/JSOG

Naoaki Tamura

2) Comparison of Various Markers for Intrauterine Growth Restriction/Small-for-gestational Age Fetuses in the First Trimester

Speaker: MacKay Memorial Hospital/TAOG

MacKay Memorial Hospital/TAOG

Chen-Yu Chen

3) Maternal Anti-Fetal Rejection As a New Mechanism of Spontaneous Preterm Birth

Speaker: Yonsei University/KSOG

JoonHo Lee

(第5会場:仙台国際センター・会議棟 2F 桜2, 11:10~11:50)

2. 不奸 (Reproduction)

Chair: Kyushu University/JSOG

Kiyoko Kato Wen-Chu Huang

1) Current Status of Uterus Transplantation Research in Japan: Towards Clinical Application

Speaker: Keio University/JSOG

Iori Kisu

2) Roles of Exosome-Associated Glycosphingolipids in Immune Tolerance of Embryo Implantation and Pregnancy

Speaker: Chang Gung Memorial Hospital Linkou Medical Center/

TAOG Hsien-Ming Wu

3) Fertility Preservation in Gynecologic Cancer Patients

Speaker: Cheil General Hospital & Women's Healthcare Center, Dankook University College of Medicine/KSOG

Chan Woo Park

日韓台ジョイントカンファレンス(2nd J-K-T Joint Conference)② P

(第5会場:仙台国際センター・会議棟 2F 桜2, 17:00~17:30)

海外招請講演

The Most Important Discoveries of the Past Fifty Years in Gynecologic Pathology

Chair: Iwate Medical University/JSOG Toru Sugiyama

Speaker: Professor Emeritus of Pathology, University of

Maryland, USA Steven Silverberg

(第5会場:仙台国際センター・会議棟 2F 桜2, 17:30~18:10)

3. 婦人科腫瘍 (Gynecology)

Chair: Seoul National University/KSOG

Jae-Weon Kim

China Medical University & Hospital/TAOG

Wei-Chun Chang

1) Integrated Analysis of Genomic and Transcriptomic Data in Ovarian Clear Cell Carcinoma

Speaker: Niigata University/JSOG Kosuke Yoshihara

2) Discovery and Translation of Epigenetic Biomarker in Women's Cancers

Speaker: Shuang Ho Hospital/TAOG Hung-Cheng Lai

3) HOXB9 as a Potential Target Gene for Overcoming Platinum Resistance in Mucinous Ovarian Cancer

Speaker: Seoul National University/KSOG Dong Hoon Suh

Closing Remarks

Speaker: Ewha Womans University/KSOG Chairman

Seung Cheol Kim

Fu Jen Catholic University Hospital/TAOG Honorary

Fellow

Ching-Hung Hsieh

ランチョンセミナー5

(第1会場:仙台国際センター・会議棟 2F 大ホール, 12:00~13:00)

血管、尿管周囲操作はこうする!~腹腔鏡下婦人科悪性腫瘍手術~

共催:ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

座長:京都大学 万代昌紀

演者:奈良県立医科大学 棚瀬 康 仁

倉敷成人病センター 太田啓明

(第2会場:仙台国際センター・会議棟 2F 橘, 12:00~13:00)

新しい超音波ツールによる胎児観察の深化

共催:GE ヘルスケア・ジャパン株式会社

座長:福島県立医科大学

藤森敬也

演者:昭和大学

市塚清健

ランチョンセミナー7

(第3会場:仙台国際センター・会議棟 2F 萩, 12:00~13:00)

女性下部尿路症状(FLUTS)と経腟手術

共催:アステラス製薬株式会社

座長:大阪市立大学

古山将康

演者: 四谷メディカルキューブ

嘉村康邦

ランチョンセミナー8

(第4会場:仙台国際センター・会議棟 2F 桜1, 12:00~13:00) Principles of Nuclear and Cytoplasmic Replacement in Human Oocytes

共催:エア・ブラウン株式会社/ブラウンテクノロジーズ株式会社

座長:東北大学

立花真仁

演者: Center for Embryonic Cell and Gene Therapy, Oregon

Health & Science University, USA Shoukhrat Mitalipov

ランチョンセミナー9

(第5会場:仙台国際センター・会議棟 2F 桜2, 12:00~13:00)子宮内膜症・子宮腺筋症の画像診断~エコーから MRI まで~

共催:持田製薬株式会社

北 脇 城

演者: 倉敷平成病院

座長:京都府立医科大学

太田郁子

(第6会場:仙台国際センター・会議棟 3F 白橿1, 12:00~13:00)

産科大出血の管理 基本と応用

共催:科研製薬株式会社

池田智明

演者:京都大学 近藤英治

ランチョンセミナー 11

(第9, 10 会場: 仙台国際センター・会議棟 1F 小会議室1,2,12:00~13:00)

AMH 検査をいかにいかすか? ~AMH 検査の進歩と不妊だけでなく産婦人科医として必要な基礎知識~

座長:三重大学

共催:ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

ランチョンセミナー 12

(第11会場:仙台国際センター・会議棟 1F 研修室 AB, 12:00~13:00)

婦人科悪性軟部腫瘍の薬物療法トピックス

共催:ノバルティス ファーマ株式会社

座長:岩手医科大学 杉 山 徹

演者:兵庫県立がんセンター腫瘍内科 松本光史

ランチョンセミナー 13

(第12 会場: 仙台国際センター・展示棟 会議室1,12:00~13:00) 最新機器を用いた婦人科内視鏡下手術―良性疾患から悪性疾患まで―

共催:カールストルツ・エンドスコピー・ジャパン株式会社/エム・シー・メディカル株式会社

 座長:東北大学
 新 倉 仁

 演者:慶應義塾大学
 升 田 博 隆

慶應義塾大学 片 岡 史 夫

(第13会場:仙台国際センター・展示棟 会議室2,12:00~13:00)

先天性サイトメガロウイルス感染症の診断と治療の展望

共催:株式会社シノテスト

座長:神戸大学 山田秀人

演者:日本大学小児科 森 岡 一 朗

ランチョンセミナー 15

(第14会場:仙台国際センター・展示棟 会議室3,12:00~13:00)

胎児心拍数モニタリング 現在・過去・未来

共催:アトムメディカル株式会社

鮫 島 浩 木 村 芳 孝

演者:東北大学

ランチョンセミナー 16

座長: 宮崎大学

(第15会場:仙台国際センター・展示棟 会議室4,12:00~13:00)

悪性軟部腫瘍に対する化学療法

共催:大鵬薬品工業株式会社

座長:京都医療センター 小西郁生

演者:国立がん研究センター東病院乳腺・腫瘍内科

原 野 謙 一

ランチョンセミナー 17

座長: 鹿児島大学

(第17会場:東北大学百周年記念会館 2F 川内萩ホール, 12:00~13:00)

婦人科腫瘍におけるゲノム情報-遺伝医療の立場から

共催:アストラゼネカ株式会社

小 林 裕 明

演者:札幌医科大学 櫻井 晃洋

(第18会場:東北大学百周年記念会館 2F 川内萩ホール 会議室1.2.3.12:00~13:00)

婦人科腫瘍に対する手術の技術とコツの伝承~再現性の高い手術をめざそう!

共催:コヴィディエンジャパン株式会社

座長:慶應義塾大学 青 木 大 輔 川名 演者:日本大学 敬 阪 埜 浩 司

イブニングセミナー1

慶應義塾大学

(第4会場:仙台国際センター・会議棟 2F 桜1.16:20~18:20)

女性ヘルスケア最前線〜子宮内膜症の life-long management におけるホルモン療法の意義を考える〜

共催:バイエル薬品株式会社

座長:東京大学 大須賀 穣 京都府立医科大学 北脇 城

子宮内膜症の life-long management: LEP 製剤連続投与の意義と実際

演者:東京大学 甲 賀 かをり

子宮内膜症による将来の卵巣がんリスクを見据えた治療戦略

演者: 奈良県立医科大学 小 林 浩

子宮内膜症による将来の心血管疾患リスクを見据えた治療戦略

演者: 愛知医科大学 若 槻 明 彦

イブニングセミナー2

(第6会場:仙台国際センター・会議棟 3F 白橿1, 16:20~17:20)

婦人科と放射線科の連携による子宮筋腫の動脈塞栓術 (UAE)

共催:日本化薬株式会社 座長: 倉敷成人病センター

安藤正明

治療選択肢のひとつとしての UAE

演者: 久留米大学

津田尚武

IVR 医による UAE 治療の実際

演者: 久留米大学放射線科 小金丸 雅 道



イブニングセミナー3

(第11会場:仙台国際センター・会議棟 1F 研修室 AB, 17:00~18:20) 思春期への HPV ワクチン接種を再考する

> 共催: MSD 株式会社 座長:金沢医科大学

笹 川 寿 之

笹 川 寿 之

必ず知っておきたい HPV 感染症と予防ワクチンの最新知識

演者:金沢医科大学

不定愁訴と子どものこころ~思春期心身症の治療について

演者:長崎県立こども医療福祉センター

プロ11 グラム

JSOG Congress Award Candidate

第2日 5月11日(金)第6会場

仙台国際センター・会議棟 3F: 白橿 1

8:20~9:20

Group 1 Award 1 Reproduction

Chair: TAOG, Taiwan Tsung-Cheng Kuo Yamaguchi University Norihiro Sugino

IS-AC-1- 1. Uterine progesterone signaling is a mechanistic target for metformin therapy in polycystic ovary syndrome

Linus R Shao (The Sahlgrenska Academy at the University of Gothenburg,

Sweden) et al.

IS-AC-1- 2. Quantification of primordial follicle using optical coherence tomography intended for investigating effective ovarian tissue transplantation

Seido Takae (St. Marianna University School of Medicine) et al.

IS-AC-1- 3. The PGC-1α-mediated pathway as a potential therapeutic target in endometriosis Hisashi Kataoka(Kyoto Prefectural University of Medicine) et al.

IS-AC-1- 4. HSD3B1 and Androgenetic alopecia in polycystic ovarian syndrome women

Yi-An Tu (National Taiwan University Hospital, Taiwan) et al.

第2日 5月11日(金)第12会場

仙台国際センター・展示棟:会議室1

8:20~9:20

Group 2 Award 2 Oncology 1

Chair: KSOG, Korea Eung Soo Lee Niigata University Takayuki Enomoto

IS-AC-2- 1. Clinical outcomes and risk of recurrence among patients with vaginal intraepithelial neoplasia

Mi-Kyung Kim (Ewha Womans University of Korea, Korea) et al.

IS-AC-2- 2. Acceptability and thoughts about Multipurpose Human Papillomavirus Vaccines in Korean physicians and mothers of Adolescent Girls: What to consider when introducing a new vaccine

Hyewon Seo (Catholic University of Korea, Korea) et al.

IS-AC-2- 3. Contribution of T helper 17 in peripheral blood to expression of PD-L1 in ovarian cancer

Aeri Aotsuka (The University of Tokyo Hospital) et al.

IS-AC-2- 4. Microsatellite instability is a potential biomarker for immune checkpoint inhibitor (anti PD-1/PD-L1 antibody) in endometrial cancer

Hitomi Yamashita (Shimane University) et al.

第2日 5月11日(金)第13会場

仙台国際センター・展示棟:会議室2

8:20~9:20

Group 3 Award 3 Oncology 2/Women's health care

Chair: KSOG, Korea Seung-Cheol Kim

University of Occupational and Environmental Health Toru Hachisuga

IS-AC-3- 1. Nationwide cohort study of the risk of major adverse cerebrovascular and cardiovascular events in the Asian women with endometriosis

Hsin-Ju Chiang (Kaohsiung Chang Gung Memorial Hospital, Taiwan) et al.

Harunori Honjoh (The University of Tokyo) et al.

IS-AC-3- 3. Lack of interval cytoreductive surgery after neoadjuvant chemotherapy in peritoneal, ovarian, or fallopian tube cancer: a description of reasons and treatment outcomes

Myong Cheol Lim (National Cancer Center (NCC), Korea) et al.

IS-AC-3- 4. Differential localization of extracellular matrix related proteins in the uterine cervix of female pelvic organ prolapse

Aki Takase (Osaka City University) et al.

第2日 5月11日(金)第14会場

仙台国際センター・展示棟:会議室3

8:20~9:20

Group 4 Award 4 Perinatology 1

Chair: ACOG, USA Thomas M. Gellhaus Kitasato University Nobuya Unno

IS-AC-4- 1. The discovery of new biomarkers for preterm birth prediction

Hyun Joo Shin (Ewha Womans University Medical School, Korea) et al.

IS-AC-4- 2. Comparison of pregnancy outcome among nulliparas with and without microalbuminuria at the end of the second trimester

Maryam Kashanian (Iran University of Medical Sciences, Iran) et al.

IS-AC-4- 3. Causes and risk factors for singleton stillbirth in Japan: an analysis using the Japan Society of Obstetrics and Gynecology Perinatal Database, 2013–2014

Rei Haruyama (The University of Tokyo) et al.

IS-AC-4- 4. Risk factors for congenital cytomegalovirus infection in pregnant women with non-primary infection

Akiko Uchida (Kobe University Hospital) et al.

第2日 5月11日(金)第15会場

仙台国際センター・展示棟:会議室4

8:20~9:20

Group 5 Award 5 Perinatology 2

Chair: ACOG, USA Haywood L. Brown Hiroshima University Yoshiki Kudo

IS-AC-5- 1. Pre-pregnancy factors associated with development of hypertension in women with preeclampsia

Hye Jin Choi (Korea University, Korea) et al.

IS-AC-5- 2. Antenatal ultrasound findings and hemorrhagic outcomes in suspected abnormally invasive placenta

Su Kyeong Kong (Gil Medical Center Gachon University, Korea) et al.

IS-AC-5- 3. Obstetric outcome and use of medications during pregnancy with systemic lupus erythematosus, rheumatoid arthritis and inflammatory bowel disease in Japan : A nationwide retrospective descriptive study

Sayaka Tsuda (University of Toyama) et al.

IS-AC-5- 4. Antenatal anti-arrhythmic treatment for fetal tachyarrhythmias : a prospective multicenter trial in Japan

Takekazu Miyoshi (National Cerebral and Cardiovascular Center) et al.

J-K-T Young Doctors Session

第2日 5月11日(金)第5会場

仙台国際センター・会議棟 2F:桜2

8:08~9:20

Chair: TAOG, Taiwan Hong-Nerng Ho

JSOG Noriaki Sakuragi

JKT-YD- 1. The prognostic role of pre-treatment complete blood count profiling in early cervical cancer

Joseph J. Noh (Samsung Medical Center, Sungkyunkwan University School of Medicine, Korea) et al.

JKT-YD- 2. Clinical significance of p53-binding protein 1 nuclear foci in cervical squamous intraepithelial lesions

Sayaka Kawashita (Nagasaki University) et al.

JKT-YD- 3. The expression of glucagon-like peptide-1 receptor could be a novel biomarker of endometrial cancer possibly by stimulating autophagy via AMPK signaling pathway

Ranka Kanda (Teikyo University) et al.

JKT-YD- 4. The clinical prognostic correlation of CypB in epithelial ovarian carcinoma patients

> Heng-Cheng Hsu (National Taiwan University Hospital Hsin-Chu Branch, Taiwan) et al.

JKT-YD- 5. Laparoscopic cornuostomy versus cornual resection using hemostatic suture : interstitial ectopic pregnancy

Bo Ram Yu (Chonbuk National University of Korea, Korea) et al.

JKT-YD- 6. Porphyromonas gingivalis-lipopolysaccharide enhances inflammation in amniotic mesenchymal cells

Haruhisa Konishi (Hiroshima University) et al.

JKT-YD- 7. Comparisons of the effects of estradiol valerate and medroxyprogesterone acetate versus tibolone on menopausal symptoms, lower urinary tract symptoms and female sexual function: A preliminary report

Pei-Ling Chen (Far Eastern Memorial Hospital, Taiwan) et al.

JKT-YD- 8. The effectiveness of laparoscopic ultrasonography during LM operation to reduce residual myomas

Mamoru Shigeta (Kindai University Hospital) et al.

International Session Poster

第2日 5月11日(金)ポスター会場(1)

仙台国際センター・展示棟:展示室

10:30~11:10

Group 1 Cervical cancer/CIN/SIL 1

Chair: Iwate Medical University Hiroaki Itamochi

ISP-1- 1. Compare the levels of IL-2, IL-6, IL-10 and IFN-γ in cervical lesions tissues and serum of Uyghur and Han women

> Mayinuer Niyazi (The People's Hospital of Xinjiang Uighur Autonomous Region, China) et al.

ISP-1- 2. Selective cytotoxic effect of non-thermal micro-DBD plasma

Byung Su Kwon (Pusan National University Hospital, Korea) et al.

ISP-1- 3. Whole-genome analysis of human papillomavirus genotypes 52 and 58 isolated from Japanese women with cervical intraepithelial neoplasia and invasive cervical cancer

Yuri Tenjimbayashi (Showa University) et al.

- ISP-1- 4. Mieap induces cell death via non-canonical mitophagy in human cervical cancer

 Makoto Yamamoto (University of Fukui) et al.
- ISP-1- 5. Establishment of a patient-derived orthotopic Xenograft (PDOX) model of HER-2-positive cervical cancer expressing the clinical metastatic pattern

Takuva Murata (Kawasaki Medical School) et al.

- ISP-1- 6. CDX2 expression and cancer progression in cervical cancer
 - Suguru Nosaka (Hiroshima University) et al.
- ISP-1- 7. Tumor-derived G-CSF induces Tumor-associated neutrophils (TANs) and suppresses the activation of T cell in cervical cancer microenvironment

Naoko Komura (Osaka University) et al.

ISP-1- 8. The clinicopathological characteristics and PD-L1 expression in neuroendocrine carcinoma of the cervix

Yukihiro Hirata (The Jikei University Kashiwa Hospital) et al.

17:00~17:40

Group 2 Cervical cancer/CIN/SIL 2

Chair: Dokkyo Medical University Saitama Medical Center Satoshi Takakura

ISP-2- 1. Research on early warning factors of cervical carcinomas and precancerous lesions

Suray Husayin (The People's Hospital of Xinjiang Uighur Autonomous Region, China) et al. ISP-2- 2. A neast case-control study on type-specifice persistent HPV infection in Uyghur women

Gulan Tuohetimulati (The People's Hospital of Xinjiang Uighur Autonomous Region, China) et al.

ISP-2- 3. Chemoradiotherapy followed by consolidation chemotherapy involving paclitaxel and carboplatin and in FIGO stage IIIB/IVA cervical cancer patients

Hiroko Shimura (Osaka University) et al.

ISP-2- 4. Phase I study of multiple epitope peptide vaccination in patients with recurrent or persistent cervical cancer

Yuji Ikeda (Saitama Medical University International Medical Center) et al.

ISP-2- 5. Neoadjuvant intraarterial chemotherapy using an original four-lumen double-balloon catheter for locally advanced uterine cervical cancer

Tomohito Tanaka (Osaka Medical College) et al.

ISP-2- 6. Comparison of adjuvant therapy for node-positive clinical stage IB-IIB cervical cancer: systemic chemotherapy versus pelvic irradiation

Hideki Tokunaga (Tohoku University) et al.

ISP-2- 7. Effectiveness of adjuvant systemic chemotherapy for intermediate-risk stage IB cervical cancer

Takamichi Minato (Tohoku University Hospital) et al.

ISP-2- 8. Paclitaxel plus cisplatin as adjuvant chemotherapy after radical hysterectomy for intermediate- and high-risk stage IB-IIB cervical cancer

Yuta Inoue (Osaka City University) et al.

ISP-2- 9. The comparison of CCRT protocols composed of different chemotherapy regimens for the patients with locally advanced cervical squamous cell carcinoma

Yoshifumi Nakao (Saga University) et al.

10:30~11:10

Group 3 Cervical cancer/CIN/SIL 3

Chair: Osaka City University Toshiyuki Sumi

ISP-3- 1. Posttreatemt HPV genotyping for recurrent high grade cervical intraepithelial neoplasias

Chan Joo Kim (St. Paul's Hospital, The Catholic University of Korea, Korea) et al.

ISP-3- 2. HPV subtyping according to the tissue biopsy of the cervix of the uterine at an institution

Eunseop Song (Inha University of Korea, Korea) et al.

ISP-3- 3. Outcomes of patients diagnosed with atypical glandular cells (AGC) in a single-institution experience

Mie Tanaka (Osaka University) et al.

ISP-3- 4. The pathological investigation of parametrial invasion to diminish type III radical hysterectomy for stage IB-IIA cervical cancers

Fuminori Ito (Nara Prefecture General Medical Center) et al.

ISP-3- 5. Lymph node metastasis of stage IA1 uterine cervical squamous cell carcinoma : case report

Kana Sekigawa (Shin-yurigaoka General Hospital) et al.

ISP-3- 6. Leukocytosis as an initial sign of aggressive growth of granulocyte colonystimulating factor-producing cervical cancer

Ai Yoshida (Kobe Medical Center) et al.

ISP-3- 7. Retrospective study of metastatic size and recurrence pattern for lymph node positive cervical cancer patients

Tomoyuki Nagai (Tohoku University Hospital) et al.

ISP-3- 8. Squamous cell carcinoma of the cervix with superficial spreading to the endometrium: A case report

Shuhei Abe (Nagasaki University) et al.

ISP-3- 9. Usefulness of diffusion-weighted MRI (DW-MRI) in the detection of lymph node metastases in patients with uterine cervical cancer

Yoshinori Takeda (Nara Prefecture General Medical Center) et al.

ISP-3- 10. Clinical Features of High-grade Neuroendocrine Carcinoma of the Uterine Cervix: a single institute retrospective review of 21 cases

Yoko Furutake (Kyoto University) et al.

17:00~17:40

Group 4 Endometrial cancer 1

Chair: Toho University Ohashi Medical Center Kaneyuki Kubushiro

- ISP-4- 1. Decreased expression of nuclear receptor coactivator-6 may correlate with the progression and less differentiation of human endometrioid adenocarcinoma
 - Norikazu Watanabe (Yamagata University Hospital) et al.
- ISP-4- 2. Estrogen-related receptor α induces epithelial-mesenchymal transition through the cancer-stromal interaction in endometrial cancer

Kaori Yoriki (Kyoto Prefectural University of Medicine) et al.

ISP-4- 3. There is a possibility that DUSP6 contributes to one of the stem-like cell phenotypes in uterine endometrial cancer

Masaya Kato (Kyushu University) et al.

ISP-4- 4. The high expression of claudin-6 is a poor prognostic factor in uterine endometrial cancer

Manabu Kojima (Fukushima Medical University Hospital) et al.

ISP-4- 5. Characterization of a cell line (NOMH-2) originating from a human uterine serous carcinoma

Takashi Yamada (Osaka Medical College)

ISP-4- 6. The usefulness of transcervical needle biopsy in uterine body tumors

Shunpei Kato(Hiroshima University Hospital) et al.

10:30~11:10

Group 5 Endometrial cancer 2

Chair: Dokkyo Medical University Kiyoshi Hasegawa

ISP-5- 1. Survival analyses based on tumor microenvironment profile in endometrial carcinoma

Shuang Zhang (University of Tsukuba) et al.

ISP-5- 2. Nanopore sequencing to uncover complex isoforms indicating lymph-node metastasis for endometrial cancer patients

Yosuke Ito (Juntendo University Hospital) et al.

ISP-5- 3. Dysadherin regulates cell invasion and might be an independent prognostic factor in uterine endometrial cancer

Kyoko Akashi (Kyoto Prefectural University of Medicine) et al.

ISP-5- 4. The role of myeloid-derived suppressor cells (MDSC) in the induction of endometrial cancer stem cells (CSC)

Eriko Yokoi (Osaka University) et al.

ISP-5- 5. Over expression of Carbonyl reductase 1 induces MET by suppressing transforming growth factor-beta signaling in uterine leiomyosarcoma cells

Takuva Kaiimura (Yamaguchi University) et al.

Takuya Kajimura (Yamaguchi University) et al.

ISP-5- 6. Prolactin contributes to the cell proliferation of type 1 endometrial cancer by the regulation of prolactin receptor and estrogen receptor via MAPK signaling pathway

Erdenebaatar Chimeddulam (Kumamoto University) et al.

ISP-5- 7. Genetic and epigenetic characterization of young-onset endometrial cancer

Takeshi Makabe (Keio University) et al.

17:00~17:40

Group 6 Ovarian/Tubal/Peritoneal cancer 1

Chair: Teikyo University Chiba Medical Center Shan-Guang Liang

ISP-6- 1. A long non-coding RNA "LUCAT1" mediates taxane-resistance acquisition in ovarian cancer

Satoshi Tamauchi (Nagoya University) et al.

- ISP-6- 2. CXCL10 works as a tumor promoter in tumor microenvironment in ovarian cancer Juri Ogishima (The University of Tokyo) et al.
- ISP-6- 3. CXCL17, as a key regulator of microenvironment, promotes peritoneal dissemination in ovarian cancer

Akira Kawata (The University of Tokyo) et al.

ISP-6- 4. Antisense oligo nucleotide of Annexin A4 improves platinum resistance in ovarian clear cell carcinoma

Reisa Kakubari (Osaka University) et al.

ISP-6- 5. Histone methyltransferases are the candidate therapeutic targets in high-grade serous ovarian carcinoma (HGSC)

Asako Kukita (The University of Tokyo) et al.

ISP-6- 6. Clinicopathological characteristics of clear cell ovarian carcinomas without any mutations in ARID1A and PIK3CA

Akira Nishijima (The University of Tokyo) et al.

ISP-6- 7. Ultrasound-based logistic regression model LR2 versus magnetic resonance imaging for discriminating between benign and malignant adnexal masses: a prospective study

Kanae Shimada (Showa University) et al.

ISP-6- 8. Combination of MDM2 inhibitor, DS-3032b, and mTOR inhibitor, everolimus, exerts antitumor effect in ovarian and renal clear cell carcinomas

Yoshiko Kawata (The University of Tokyo) et al.

ISP-6- 9. The impact of UGT1A1 genotype upon prognoses of the patients with ovarian clear cell carcinomas-a historically controlled study-

> Masashi Takano (Department of Tumor Chemotherapy, National Defense Medical College Hospital) et al.

10:30~11:10

Group 7 Ovarian/Tubal/Peritoneal cancer 2

Chair: The Jikei University Daisan Hospital Seiji Isonishi

ISP-7- 1. CRISPR/Cas9-mediated genome editing and efficient PD-L1 disruption on tumor cells promote antitumor immunity and suppress ovarian cancer progression in a mouse model

Tamaki Yahata (Wakayama Medical University) et al.

ISP-7- 2. Exosomal miR-99a-5p is upregulated in ovarian cancer patients' sera and enhance PAI-1 expression in neighboring peritoneal mesothelial cells to facilitate cancer invasion

Akihiko Yoshimura (Osaka University) et al.

ISP-7- 3. Induction of anti-VEGF therapy resistance by upregulated expression of microseminoprotein (MSMP)

Takashi Mitamura (Hokkaido University Hospital)

ISP-7- 4. Genomic alterations of tumor-related pathways suppresses a mitochondrial function through the activation of PDK2 in ovarian clear cell carcinoma

Sachiko Kitamura (Kyoto University) et al.

ISP-7- 5. Role of RNA chaperones in ovarian cancer metastasis

Mahy Egiz (Tohoku University) et al.

ISP-7- 6. CD141⁺ Dendritic cells in ovarian cancer microenvironment

Rin Mizuno (Kyoto University) et al.

ISP-7- 7. A Machine Learning Algorithm Using Blood Biomarkers for Diagnostic and Prognostic Prediction in Epithelial Ovarian Cancer

Junya Tabata (The Jikei University School of Medicine) et al.

ISP-7- 8. Diagnosis of early stage ovarian clear cell carcinoma (CCC) and endometrioid carcinoma (EMC) - the combination assay of A2160 (Alpha-chain of Complement 4-Binding Protein with Fully-Sialylated Glycans) and C4BP with all types of glycans (ALL-C4BP) -

Masaru Hayashi (Tokai University Hospital) et al.

ISP-7- 9. Ex vivo chemosensitivity assay using patient-derived spheroids of ovarian cancer
Yu Ito (Osaka University) et al.

17:00~17:40

Group 8 Ovarian/Tubal/Peritoneal cancer 3

Chair: Cancer Institute Ariake Hospital Nobuhiro Takeshima

ISP-8- 1. Lysosomal function estimated through the autophagic features in ovarian carcinoma

Koji Kumagai (Osaka Railway Hospital) et al.

ISP-8- 2. Overexpression of histone methyltransferases is involved in the proliferation of ovarian clear cell carcinomas

Machiko Kojima (The University of Tokyo Hospital) et al.

- ISP-8- 3. The mechanism of ceramide nanoliposomes-induced necroptosis in ovarian cancer Xuewei Zhang (Tohoku University) et al.
- ISP-8- 4. GEP oncogene induces epithelial-mesenchymal transition through LATS1 down-regulation in ovarian cancer

Hiroshi Yagi (Kyushu University) et al.

ISP-8- 5. Regulation of Reg IV expression and prediction of response to 5-fluorouracil by CDX2 in ovarian mucinous carcinoma

Iemasa Koh (Hiroshima University) et al.

ISP-8- 6. Expression of epithelial cell adhesion molecule and CD44 variant 6 is a predictive biomarker of chemoresistance and prognosis in epithelial ovarian cancer

Yashiro Motooka (Kumamoto University) et al.

- ISP-8- 7. Ferroptosis induced by erastin in RAS mutant ovarian cancer cells Motoki Takenaka (Gifu University Hospital) et al.
- ISP-8- 8. Efficacy and toxicity of PEGylated liposomal doxorubicin for recurrent ovarian cancer according to number of previous chemotherapy regimens: Comparison with gemcitabine

Yoshifumi Takahashi (Jichi Medical University) et al.

ISP-8- 9. Interleukin-34 is a promising prognostic biomarker in ovarian cancers

Hiraku Endo (St. Marianna University School of Medicine) et al.

10:30~11:10

Group 9 Other malignant or benign tumor 1

Chair: Toho University Sakura Medical Center Toshihiko Kinoshita

ISP-9- 1. SPIO method for the diagnosis of pelvic lymph node metastasis

Kosuke Murakami (Kindai University) et al.

ISP-9- 2. Discrimination of malignant transformation from benign endometriosis using near-infrared approach

Yuki Yamada (Nara Medical University) et al.

ISP-9- 3. Pathogenic KRAS mutation was frequently found in endometrial polyp with whole exome sequencing

Takashi Takeda (Keio University) et al.

ISP-9- 4. Evaluation of safety and diagnostic concordance for flexible hysteroscopy in 1,591 outpatient cases

Kosuke Tsuji (Keio University) et al.

ISP-9- 5. Influence of adverse effects on quality of life of survivors of gynecologic cancer Keiichiro Nakamura (Okayama University) et al.

ISP-9- 6. Application of hysteroscopic transcervical resection for cervical proliferative disorder diagnostic method

Kensuke Hamamura (Juntendo University Nerima Hospital) et al.

ISP-9- 7. Relation between intracardiac thrombus and advanced cancer: Report of two cases

Yasuka Miyakuni (Juntendo University Urayasu Hospital) et al.

ISP-9- 8. Consideration of outpatient mammary gland at our hospital

Takako Kawakita (Tokushima University) et al.

ISP-9- 9. A retrospective study for the effectiveness and the safety of chemotherapy for elderly gynecologic cancer patients

Mihoko Aoki (Yokohama City University Hospital) et al.

17:00~17:40

Group 10 Trophoblastic disease

Chair: Kitasato University Takashi Onda

ISP-10- 1. Primary vaginal gestational trophoblastic neoplasia treated with uterine angiographic embolization and chemotherapy

Maria Concepcion Cenizal (St. Luke's Medical Center, Philippines) et al.

ISP-10- 2. The Mole that Created a Hole: A Case of an Invasive Mole with Uterine Perforation in a Primigravid

Lugie Testado-Ouano (Manila Central University-Ultrasound Services Incorporated, Philippines) et al.

ISP-10- 3. Prognostic effect of ABO blood groups in patients with androgenetic complete hydatidiform moles

Asuka Sato (Chiba University) et al.

- ISP-10- 4. Primary choriocarcinoma of the mesentery in a pregnancy woman: A case report Misaki Ozawa (Yokohama City University Medical Center) et al.
- ISP-10- 5. Treatment of choriocarcinoma with 4-day methotrexate, etoposide and actinomycin D regimen: a single center experience

Eiko Yamamoto (Department of Medical Adminst, Nagoya University) et al.

ISP-10- 6. The Usefulness of genetic analysis for differential diagnosis between complete and partial hydatidiform moles

Noriko Miyashita (Nagasaki University) et al.

ISP-10- 7. Three cases of complete hydatidiform mole coexistent with a live twin fetus

Hikari Yoshizawa(Kobe University) et al.

10:30~11:10

Group 11 Perinatal care 1

Chair: Tohoku University Masatoshi Saito

ISP-11- $\,$ 1. The change of maternal cardiac function in twin pregnant women

Mayu Ukai (TOYOTA Memorial Hospital) et al.

ISP-11- 2. Pregnancy outcomes of MD twins

Miki Nishizawa (Teikyo University) et al.

ISP-11- 3. Clinical significance of pregnancy in Japanese women aged 15 years

Asako Watanabe (Japanese Red Cross Katsushika Maternity Hospital) et al.

ISP-11- 4. Pregnancy after fertility preservation with high-dose medroxyprogesterone acetate: Three cases of obstetric complications

Karin Imaizumi (Fukushima Medical University) et al.

ISP-11- 5. Pregnancy outcome of extremely advanced maternal age

Tomoyuki Sekizuka (Niigata University Medical and Dental Hospital) et al.

ISP-11- 6. Ultrasound study of fetal movements in singleton and twin pregnancies at 12 to 19 weeks

Mohamed Aboellail (Kagawa University) et al.

ISP-11- 7. The effect of trimester-specific gestational weight gain on the risk of light for date in Japanese women stratified by the methods to calculate trimester-specific gestational weight gain

Takuhiro Yamada (Aiwa Hospital) et al.

ISP-11- 8. The client's attitude survey after invasive or non-invasive prenatal testing

Mie Tahara (Osaka City General Hospital) et al.

ISP-11- 9. An investigation of the benefits of first trimester ultrasound screening combined with second trimester maternal serum screening

Yumi Araki (Hiroshima University) et al.

17:00~17:40

Group 12 Fetal complication 1

Chair: Teikyo University Eiji Ryo

ISP-12- 1. Immunoglobulin fetal therapy for symptomatic congenital cytomegalovirus infection

Yutoku Shi (Kobe University) et al.

ISP-12- 2. Anti-cytomegalovirus IgM titer for congenital infection in first-trimester pregnancy with primary infection

Kuniaki Toriyabe (Mie University Hospital) et al.

- ISP-12- 3. Biphasic MCA-PSV elevation in a case of congenital cytomegalovirus infection Sho Tano(Perinatal Medical Center, TOYOTA Memorial Hospital) et al.
- ISP-12- 4. Prediction of functional pulmonary hypoplasia using MRI Junya Sakuma (Toho University Omori Medical Center) et al.
- ISP-12- 5. Measuring fetal lung volume through fetal MRI imaging prior to ex utero intrapartum treatment (EXIT) for fetal airway occlusion and stenosis could contribute to EXIT success: a retrospective multicenter joint study

Satoshi Dohi (Showa University Northern Yokohama Hospital) et al.

- ISP-12- 6. Prediction of the severity of lung hypoplasia in congenital diaphragmatic hernia Yuka Yamamoto (Juntendo University Urayasu Hospital) et al.
- ISP-12- 7. A case of prenatal diagnosis of congenital hiatal hernia

Moe Yorozu (Okayama Medical Center) et al.

- ISP-12- 8. A case of fetal megalocystis and oligohydramnios with bladder size reduction and amniotic fluid volume improvement during the second trimester Eriko Iwane (Tokyo Women's Medical University Yachiyo Medical Center) et al.
- ISP-12- 9. Familial campomelic dysplasia due to maternal germinal mosaicism

Daisuke Higeta (Gunma University Hospital) et al.

ISP-12- 10. 14 cases of fetal skeletal dysplasia: accuracy of prenatal diagnosis

Miyoko Waratani (Kyoto Prefectural University of Medicine) et al.

10:30~11:10

Group 13 Preterm labor 1

Chair: Jichi Medical University Akihide Ohkuchi

- ISP-13- 1. Repairing fetal membranes using elastomeric sealant in vivo mouse model Yosuke Kawamura (Kyoto University) et al.
- ISP-13- 2. An ex vivo model and case report using intracervical elastomeric sealant for previable spontaneous premature rupture of the membranes

Eiji Kondoh (Kyoto University) et al.

- ISP-13- 3. Development of a prognostic/diagnostic examination system of preterm birth, targeting serum galectin-3
 - Satoshi Urabe (Hiroshima University) et al.
- ISP-13- 4. Analysis of bacterial floral profile of the amniotic fluid in the cases of intraamniotic inflammation using next generation sequencer
 - Tsuyoshi Yamasaki (Kyushu Medical Center) et al.
- ISP-13- 5. Risk factors for preterm birth in ureaplasma-infected pregnant women with preterm labor
 - Erina Hashimoto (Nihon University Itabashi Hospital) et al.
- ISP-13- 6. The association of progranulin level controlled by progesterone with cervical maturation

Taiki Samejima (The University of Tokyo Hospital) et al.

17:00~17:40

Group 14 HDP 1

Chair: Tokai University Hitoshi Ishimoto

ISP-14- 1. Time-series Analysis of Life-logs to Predict Hypertensive Disorders of Pregnancy in Maternity Log Study

Takafumi Yamauchi (NTT DOCOMO, INC./Tohoku University) et al.

ISP-14- 2. Prediction of Hypertensive Disorders of Pregnancy by Using Genetic Information in Maternity Log Study

Yoshiki Tsunemoto (NTT DOCOMO, INC.) et al.

ISP-14- 3. Characteristic changes of the circadian rhythm by ambulatory blood pressure monitoring seen in preeclamptic women

Yoshikatsu Suzuki (Aichi Medical University) et al.

 $ISP\hbox{--}14\hbox{--}\quad 4.\quad Cardiac\ dysfunction\ in\ patients\ with\ preeclampsia$

Eiji Yoshida (Perinatal Medical Center, TOYOTA Memorial Hospital) et al.

ISP-14- 5. Maternal cardiac function in patients with preeclampsia compared with normal pregnant women

Takuma Yamada (TOYOTA Memorial Hospital) et al.

 $\begin{tabular}{ll} ISP-14-& 6. & Long-term outcomes of infants delivered between 24 and 34 weeks of gestation in women with early-onset hypertensive disorders of pregnancies (HDP) \\ \end{tabular}$

Junsuke Muraoka (Miyazaki Medical Association Hospital) et al.

ISP-14- 7. The difference of the activated prorenin concentration between pregnant women with or without hypertensive disorder of pregnancy

Shoko Tamada (Okayama University) et al.

10:30~11:10

Group 15 Maternal complication 1

Chair: Hamamatsu University School of Medicine Toshiyuki Uchida

 $ISP-15- \quad 1. \quad Relationship \ between \ 50-g \ glucose \ challenge \ test \ and \ large \ for \ gestational \ age \\ in fants \ among \ pregnant \ women \ without \ gestational \ diabetes$

Dittakarn Boriboonhirunsarn (Siriraj Hospital, Thailand) et al.

ISP-15- 2. Prevalence of false positive 50-g glucose challenge test and relationship with adverse pregnancy outcomes

Auakarn Thananyai (Siriraj Hospital, Thailand) et al.

ISP-15- 3. Determination of an Optimal 50-g Oral Glucose Challenge Test Cutoff Value to Screen for Gestational Diabetes Mellitus

Sakiko Matsuoka (Aso Iizuka Hospital) et al.

ISP-15- 4. Present condition and problems of gestational diabetes mellitus care in our prefecture

Naoto Yonetani (Tokushima University) et al.

ISP-15- 5. Glycemic and metabolic features in gestational diabetes: singleton versus twin pregnancies

Yohei Akiba (Keio University) et al.

- ISP-15- 6. Efficacy of the risk scoring system to triage patients with gestational diabetes

 Hiroshi Yamashita (Nagasaki Medical Center) et al.
- ISP-15- 7. Epigenetic modifications of well-controlled gestational diabetes on cord blood using genome-wide methylation analysis

Yoshifumi Kasuga (Keio University) et al.

ISP-15- 8. Is the therapeutic intervention during early pregnancy effective in women with gestational diabetes diagnosed before 20 weeks' gestation?

Noriko Odani (Nagasaki Medical Center) et al.

ISP-15- 9. Monochorionic diamniotic twin pregnancy complicated by type I diabetes treated with SAP therapy for blood sugar control

Miho Kondo (Kyoto Prefectural University of Medicine) et al.

ISP-15- 10. Correlation of early pregnancy body mass index, waist circumference and waistto-hip ratio to gestational diabetes mellitus

Kathryn Bautista (Manila Central University, Philippines) et al.

17:00~17:40

Group 16 Maternal complication 2

Chair: Niigata University Koichi Takakuwa

- ISP-16— 1. The Missing Link: A Case of Hydrops Fetalis in Alpha Thalassemia Ivy Karen Romero (Manila Central University-Filemon D. Tanchoco Medical Foundation Hospital, Philippines) et al.
- ISP-16- 2. Clinical characteristics of women developing perinatal venous thromboembolism under standardized prophylaxis management following JSOG guideline

Misako Kuramochi (The University of Tokyo Hospital) et al.

- ISP-16— 3. Preeclampsia in Pregnancies with Systematic Lupus Erythematosus Hiroyo Meguro (Fukushima Medical University) et al.
- ISP-16- 4. Postpartum thrombotic microangiopathy occurring secondary to systemic lupus erythematosus: a case report

Kenichiro Hirotani (Kyushu University) et al.

ISP-16— 5. A case of treatment-resistant idiopathic thrombocytopenic purpura during pregnancy

Maki Okada (Yamaguchi University Hospital) et al.

ISP-16— 6. ARDS due to H3N2 Influenza A occurring in the second trimester of pregnancy:

A case report

Yuri Sasaki (Iwate Medical University) et al.

ISP-16- 7. Analysis of pregnant women with syphilis

Hidenori Sasa (National Defense Medical College) et al.

ISP-16- 8. The meaning of Methicillin-resistant Staphylococcus aureus (MRSA) colonization in pregnant women; a prospective cohort study

Jumpei Ogura (Toyooka Hospital) et al.

ISP-16- 9. Acute Appendicitis during Pregnancy

Misako Hideshima (Saga University Hospital) et al.

10:30~11:10

Group 17 Maternal complication 3

Chair: Saitama Medical Center, Saitama Medical University Kazunori Baba

ISP-17- 1. Obstetrical and perinatal outcomes of the chemotherapy in breast and cervical cancer during pregnancy

Mee Hyang Ko(Gachon University of Korea, Korea) et al.

ISP-17- 2. Successful Heterotopic Pregnancy with Prior Radical Trachelectomy after TCIC with MTX Treatment

Eun-Jee Whang (Kangnam Sacred Heart Hospital of Hallym University of Korea,

ISP-17- 3. Obstetrical prognosis of patients treated by vaginal radical trachelectomy during pregnancy

Takafumi Kuroda (Sapporo Medical University) et al.

ISP-17- 4. Clinical features and the management of pregnancy-associated breast cancer: Retrospective analysis of 8 patients

Tadahi Okada (Sapporo Medical University Hospital) et al.

ISP-17- 5. A case of colorectal cancer during pregnancy

Miho Saito (Tokyo Metropolitan Bokutoh Hospital) et al.

ISP-17- 6. Primary intramedullary spinal cord tumour in pregnancy: A case report

Kyoko Fujii (University of Fukui Hospital) et al.

ISP-17- 7. A pregnancy with adenomyosis: A case report

Ayaka Tachibana (Tokushima University Hospital) et al.

ISP-17- 8. Current circumstance of the care for pregnancy complicated with adult congenital heart disease at a non-specialized tertiary perinatal center

Hironobu Hyodo (Tokyo Metropolitan Bokutoh Hospital) et al.

ISP-17- 9. Pregnant women with low TSH and normal FT4 in early pregnancy may have relatively low risk of preterm delivery

Masahiro Shiba (Teikyo University) et al.

17:00~17:40

Group 18 Abnormal delivery 1

Chair: Osaka Medical College Daisuke Fujita

ISP-18- 1. "In The Nick of Time" A perimortem cesarean delivery following pulmonary congestion and pre-eclampsia

Adeline Rose T. Escartin (Manila Central University–FDTMF Hospital, Philippines) et al.

ISP-18- 2. Perimortem Cesarean Section (PMCS)-successful maternal resuscitation of out-hospital onset cardiopulmonary arrest, a case report

Chiyori Sakamoto (Dokkyo Medical University Hospital) et al.

ISP-18- 3. A retrospective cohort analysis of retained products of conception with vascularity after second-trimester abortion; incidence, outcomes in expectant management, and characteristic ultrasonographic features leading to future severe hemorrhage

Naoya Akiba (The University of Tokyo) et al.

ISP-18- 4. The relationship of anesthetic amount with the prolonged second stage of labor and malrotation in labor analgesia

Hitomi Ando (Juntendo University) et al.

- ISP-18- 5. Perinatal maternal cases of disturbance of consciousness transferred to our facility Yoshihiro Kuritani (Rinku General Medical Center) et al.
- ISP-18- 6. The challenge to quantify the uterine contraction; usability of handheld muscle hardness meter (HMH meter) and its clinical application to obstetric bleeding management

Kenji Imai (Nagoya University) et al.

ISP-18- 7. For 10 years prospective study: trial of labor after cesarean (TOLAC) versus repetitive cesarean based on informed choice

Kaname Uno (Perinatal Medical Center, TOYOTA Memorial Hospital) et al.

ISP-18- 8. Induction of labor with metreurynter at or after 39 weeks of gestation in women with one previous cesarean delivery increases the likelihood of failed trial of labor after cesarean delivery

Kento Misawa (Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital) et al.

10:30~11:10

Group 19 Placenta 1

Chair: Juntendo University Urayasu Hospital Koyo Yoshida

ISP-19- 1. Which risk factor is the most useful to predict placenta accreta pre-operatively? : a retrospective study on placenta previa

Hiromitsu Azuma (Nihon University Itabashi Hospital) et al.

ISP-19- 2. The usefulness of preoperative autologous blood donation before caesarean section of placenta previa based on SBOE (the surgical blood order equation)

Junki Imaizumi (Tokushima University) et al.

ISP-19- 3. The optimal amount of preoperative autologous blood donation for placenta previa and low lying placenta

Ayumi Sakai (Center for Maternal, Fetal and Neonatal Medicine, Saitama Medical University Saitama Medical Center) et al.

ISP-19- 4. Placenta accreta following hysteroscopic lysis of adhesions caused by Asherman's syndrome

Yuko Sonan (Yokohama City University Medical Center) et al.

ISP-19- 5. Risk factors for the placenta with velamentous umbilical cord insertion among term singleton ART pregnancies

Satoshi Furuya (Kubonoya Ob/Gyn Clinic) et al.

- ISP-19- 6. The importance of fetal/placental weight ratio for the evaluation of small for date

 Toshiya Itoh (Hamamatsu University School of Medicine Hospital) et al.
- ISP-19- 7. Placental mesenchymal dysplasia with severe fetal growth restriction in one side of placenta of dichorionic diamniotic twin pregnancy

Shoko Jitsumori (Wakayama Medical University) et al.

ISP-19- 8. A case report of chorioamniotic membrane separation with chorionic hematoma and inflammation

Kumiko Nakata (Wakayama Medical University Hospital) et al.

17:00~17:40

Group 20 Technique

Chair: Ehime University Keiichi Matsubara

ISP-20- 1. Practical applications of uterine compression sutures

Jun Takeda (Juntendo University) et al.

ISP-20- 2. Transabdominal Cervical Cerclage via Laparotomy: 5 cases

Yuri Hasegawa (Nagasaki University) et al.

ISP-20- 3. Analgesic effect of regular intravenous administration of acetaminophen for pain due to post-cesarean delivery: a retrospective study

Keiko Yabuzaki (The Jikei University Hospital) et al.

ISP-20- 4. The efficacy of uterine compression suture as a procedure in the management of primary atonic bleeding: a historical cohort study

Masaaki Sawada (Osaka University) et al.

ISP-20- 5. Two cases of Vertical Rupture at Side Wall of the Uterine Cervix: Unusual Clinical Courses and How the Ruptures were Repaired

Yasunori Fukuoka (Takatsuki General Hospital) et al.

ISP-20- 6. The efficacy of a new combined uterine compression suture technique for severe postpartum hemorrhage

Hasumi Tomita (Tohoku University Hospital) et al.

- ISP-20- 7. Usefulness of vertical compression suture for placenta previa in caesarean section Tomoko Uehara (Tohoku University Hospital) et al.
- ISP-20- 8. The experience of CIABO (common iliac artery balloon occlusion)

Shotaro Kai (Kyushu University Hospital) et al.

10:30~11:10

Group 21 Reproductive physiology/Endocrinology 1

Chair: Toho University Masahiko Nakata

ISP-21- 1. Novel function of a transcription factor WT1 in regulating decidualization in human endometrial stromal cells and its molecular mechanism

Isao Tamura (Yamaguchi University) et al.

ISP-21- 2. Bone morphogenic protein 4(BMP4) is required for establishment of an adequate uterine decidualization and vascularization to support normal pregnancy

Takashi Nagashima (Kyorin University) et al.

ISP-21- 3. Possible Role of Neurotensin and CRH in the Feedback Regulation by Estradiol: A Study Using Hypothalamic ARC and AVPV Cell Models

Tuvshintugs Tumurbaatar (Shimane University) et al.

ISP-21- 4. 14-3-3 sigma is a novel Basonuclin1-binding protein in oocyte

Motomasa Ihara (Tohoku University Hospital) et al.

ISP-21- 5. Genome-wide gene expression analysis in mouse granulosa cells undergoing luteinization during ovulation

Yuichiro Shirafuta (Yamaguchi University) et al.

ISP-21- 6. Mitochondria-eating protein is essential for sperm function, but not oocyte quality, in *in vitro* fertilization

Makoto Orisaka (University of Fukui) et al.

ISP-21- 7. Identification of the genes associated with endometrial cell aging

Teruhiko Kawamura (Kyushu University) et al.

ISP-21- 8. Forced lipophagy reveals that lipid droplets are required for the development of preimplantation embryos in mice

Takayuki Tatsumi (Tokyo Medical and Dental University) et al.

ISP-21- 9. HAND2 regulates IL-15 in human endometrium during progesterone-induced decidualization

Hiromi Murata (Kansai Medical University) et al.

17:00~17:40

Group 22 ART 1

Chair: Akita University Yukiyo Kumazawa

- ISP-22- 1. New Strategies of preimplantation genetic haplotyping for patients with de novo mutation and couples with no available DNA samples from family members

 Junko Maki (Keio University) et al.
- ISP-22- 2. Incidence and predictive factors for complete fertilization failure in *in vitro* fertilization treatment cycles: a retrospective cohort study using the assisted reproductive technology registry of Japan

Toshifumi Takahashi (Fukushima Medical Center for Children and Women Fukushima Medical University) et al.

ISP-22- 3. Polyunsaturated fatty acid concentration in the human follicular fluid may affect fertilization

Keiko Mekaru (University of the Ryukyus) et al.

ISP-22- 4. Does variable luteal support according to the serum progesterone level at the embryo transfer improve the clinical pregnancy rate of natural frozen-thawed embryo transfer?

Takuhiko Ichiyama (Saint Mother Hospital) et al.

ISP-22- 5. Egg activation of sperm factor, phospholipase C zeta 1 (PLCZ1) as future clinical applications

Takashi Yamaguchi (Saint Mother Hospital) et al.

ISP-22- 6. An analysis of follicular oxidative stress and oocyte development in ART treatment cycle

Hiromi Terao (The University of Tokyo) et al.

ISP-22- 7. Progesterone/estradiol ratio as a predictor of obtaining usable blastocyst in clomiphene IVF cycle

Kenichiro Watanabe (Nippon Medical School) et al.

10:30~11:10

Group 23 Infertility

Chair: Oita University Yasushi Kawano

ISP-23- 1. Polycystic ovarian morphology in reproductive-aged Thai women with polycystic ovary syndrome

Vichuta Unalome (Siriraj Hospital, Mahidol University, Thailand) et al.

ISP-23- 2. The effect of androgen on secondary follicle development might be speciesspecific

Yuya Fujibe (Sapporo Medical University Hospital) et al.

ISP-23- 3. Large uterine myoma with erythropoietin messenger RNA and erythrocytosis

Takafumi Kohama (Keiju Medical Center)

ISP-23- 4. Application of Computer-Aided Sperm Analysis (CASA) for Sperm Immobilization Test

Yu Wakimoto (The Hospital of Hyogo College of Medicine) et al.

ISP-23- 5. A successful pregnancy in a patient with 46,XY pure gonadal dysgenesis after transfer of a frozen-thawed embryo derived from donor oocytes

Misato Ukita (The Hospital of Hyogo College of Medicine) et al.

ISP-23- 6. Determining the safe cut-off point for preimplantation genetic diagnosis (PGD) of mitochondrial DNA (mtDNA) disorders

Yuki Mizuguchi (Keio University) et al.

ISP-23- 7. Establishment of female athlete outpatient in our hospital and current problems for female athlete triad

Sayaka Nose-Ogura (The University of Tokyo Hospital) et al.

ISP-23- 8. What is OHVIRA syndrome? The Müllerian duct anomaly and unilateral renal agenesis in our 17 cases

Takashi Kuno (Tohoku University Hospital) et al.

ISP-23- 9. Serum AMH levels in adolescent and young women under 25 years with irregular menstrual cycles

Akari Watanabe (Nagasaki University Hospital) et al.

17:00~17:40

Group 24 Recurrent pregnancy loss

Chair: Tokyo Medical University Naoaki Kuji

ISP-24- 1. Association of eicosapentaenoic acid (EPA) to arachidonic acid (AA) ratio with second trimester miscarriage

Nobuko Mimura (The University of Tokyo Hospital) et al.

ISP-24- 2. DomainV of β2GPI has very high affinity with MHC class II

Yuuki Sasagawa (Kobe University) et al.

ISP-24- 3. Reevaluation of the RPL management based on the villus chromosomal analysis after miscarriage despite previous treatment

Ai Sakamoto (Okayama University) et al.

ISP-24- 4. Induction and clearance of decidual senescent cells in cycling human endometrium

Yojiro Maruyama (Juntendo University) et al.

ISP-24- 5. The distribution of etiology and therapy outcomes of recurrent pregnancy loss at our recurrent pregnancy loss clinic

Maho Miyaji (Kobe University Hospital) et al.

ISP-24- 6. Subclinical hypothroidism in women with reccurent pregnancy loss

Kotaro Kubo (Okayama University) et al.

ISP-24- 7. Studies on the outcome of pregnancies which had continued after the immunosuppressive and anticoagulation therapy for patients with reproductive failure who are positive for anti-phospholipid antibodies (APLs)

Taro Nonaka (Niigata University Medical and Dental Hospital) et al.

ISP-24- 8. A case of germline mosaicism detected in infertile man with a 47, XYY karyotype Kentaro Kai (Nakatsu Municipal Hospital) et al.

10:30~11:10

Group 25 Nutrition/Osteoporosis

Chair: Tokyo Dental College Ichikawa General Hospital Kiyoshi Takamatsu

- ISP-25- 1. The Effects of Five-year Hormone Therapy, Alendronate, Tibolone, and Raloxifene on Bone Mineral Density in Postmenopausal Women (Second Study) Hoe-Saeng Yang (Dongguk University of Korea, Korea) et al.
- ISP-25- 2. Polysaccharide isolated from Hyuganatsu orange that suppressed rat osteoclast formation should be an arabinogalactan

Masatoshi Yamaguchi (University of Miyazaki Hospital) et al.

ISP-25- 3. The relation of remaining ovaries and risk of osteopenia: a retrospective study in patients with ovarian endometrioma

Nana Akino (The University of Tokyo) et al.

ISP-25- 4. A study to evaluate the impact of surgical menopause on bone metabolism in women below 50 years of age

Kanae Matsuno (The Jikei University Hospital) et al.

ISP-25- 5. Investigation of long-term use of bisphosphonate

Emi Motegi (Dokkyo Medical University) et al.

- ISP-25- 6. Undernourishment in utero programs CIDEA & CIDEC genes expression and deteriorates hepatic stetatosis: Role of endoplasmic reticulum (ER) stress
 Jeenat Urmi (Hamamatsu University School of Medicine) et al.
- ISP-25- 7. Metabolomic profiling of prediabetes and diabetes among Japanese postmenopausal women

Miho Iida (Keio University) et al.

ISP-25- 8. The risk of dyslipidemia after a cystectomy or oophorectomy in endometriosis

Mana Hirano (The University of Tokyo Hospital) et al.

17:00~17:40

Group 26 Infection

Chair: Showa University Northern Yokohama Hospital Masaaki Nagatsuka

- ISP-26- 1. Abdominal palpation with Ou MC manipulation for women with acute abdomen

 Ming Cheh Ou (Taipei City Hospital, Taiwan) et al.
- ISP-26- 2. Inhibitory Effects of *Lactobacillus* Culture Supernatants on *Candida albicans*Yuko Matsuda (Juntendo University Nerima Hospital) et al.
- ISP-26- 3. Successful treatment of Candida glabrata after infectious abortion and maternal fungemia resulting in the next normal pregnancy

Megumi Oh (Aiiku Hospital) et al.

- ISP-26- 4. Abdominal tuberculosis a major cause of infertility in developing countries

 Sanjay Chaube (St. Jude's Hospital, India) et al.
- ISP-26- 5. A case report of pelvic inflammatory disease due to Streptococcus pneumoniae Miho Ando (Aso Iizuka Hospital) et al.
- ISP-26- 6. Human CD134(OX40) expressed on T cells plays a key role for human herpesvirus
 6B replication after umbilical cord blood transplantation

Satoshi Nagamata (Kobe University) et al.

ISP-26- 7. Diagnosis and treatment of the adnexal actinomycosis mimicking an advanced epithelial ovarian cancer

Seok-Mo Kim (Chonnam National University, Korea) et al.

10:30~11:10

Group 27 Endometriosis 1

Chair: Juntendo University Mari Kitade

ISP-27- 1. Systemic and local status of myeloid-derived suppressor cells (MDSC) in endometriosis patients

Erina Satake (The University of Tokyo) et al.

ISP-27- 2. SR-16234, a novel selective estrogen receptor modulator, for pain symptoms with endometriosis: an open-label clinical trial

Tasuku Harada (Tottori University) et al.

ISP-27- 3. Expression pattern of membrane proteins in endometrial stromal cells from women with endometriosis

Saya Yamashita (Osaka University) et al.

- ISP-27- 4. CXCL12-CXCR4 axis is enhanced in endometriosis via prostaglandin E₂ (PGE₂)
 Tomoko Makabe (The University of Tokyo) et al.
- ISP-27- 5. Bradykinin system is involved in endometriosis-related pain through endothelin-1 production

Osamu Yoshino (University of Toyama) et al.

ISP-27- 6. Dienogest improves decreased chemotaxis of peritoneal natural killer cells from women with endometriosis

Chiaki Izumiya (Kochi Medical School) et al.

17:00~17:40

Group 28 Uterine leiomyoma 1

Chair: Showa University Kazuhisa Shimodaira

- ISP-28- 1. Epidemiology and Recent Treatment of Leiomyomas in Korean Women Hyejin Hwang (The Catholic University of Korea, Korea) et al.
- ISP-28- 2. Disturbed WNT/ β -catenin Signaling under Serum Starvation and Hypoxia Induces Adipocytic Transdifferentiation in Human Uterine Leiomyoma Cells Hiroshi Harada (University of Occupational and Environmental Health) et al.
- ISP-28- 3. Diffuse type adenomyosis is associated with the high incidence of pregnancy complications

Ayako Hashimoto (The University of Tokyo) et al.

ISP-28- 4. Hypoxia-induced gene expression profile of uterine leiomyoma under extracellular matrix-free conditions

Hiroshi Ishikawa (Chiba University) et al.

ISP-28- 5. The use of the apparent diffusion coefficient (ADC) value for differentiating leiomyosarcoma from leiomyoma variants

Mai Nishimura (Teine Keijinkai Hospital) et al.

10:30~11:10

Group 29 Surgery 1

Chair: Juntendo University Urayasu Hospital Iwaho Kikuchi

- ISP-29- 1. Three cases of retained products of conception treated with hysteroscopic surgery following uterine artery embolization
 - Teppei Ichikawa (Dokkyo Medical University Saitama Medical Center) et al.
- ISP-29- 2. Laparoscopic Hysterectomy in Large Myoma Uteri by Using Lee-Huang Point Mayuko Komori (Toho University Omori Medical Center) et al.
- ISP-29- 3. Six ideas to provide accurate histopathological diagnosis for specimens extracted by power morcellation during total laparoscopic hysterectomy

Yoji Hisamatsu (Kansai Medical University) et al.

ISP-29- 4. Spray type adhesion prevention barrier, how to use and short-term report

Masato Kita(Kansai Medical University) et al.

$$\label{eq:stratafix} \begin{split} \text{ISP-29-} & \quad \text{5.} \quad \text{Utility of continuous sutures by STRATAFIX}^* \text{ for closing vaginal stump in total} \\ & \quad \text{laparoscopic hysterectomy} \end{split}$$

Shintaro Yanazume (Kagoshima University Hospital) et al.

ISP-29- 6. Hand-Assisted In-Bag Morcellation with the Inside Retractor Technique Yoichi Aoki (Cancer Institute Hospital) et al.

ISP-29- 7. Proper device usage in total laparoscopic hysterectomy: A retrospective analysis in single institute

Kenro Chikazawa (Jichi Medical University Saitama Medical Center) et al.

ISP-29- 8. Contained Morcellation for laparoscopic surgery Using a Tissue Isolation Bag (MorSafe)

Atsuko Yamada (Juntendo University Urayasu Hospital) et al.

ISP-29- 9. Examination of the Efficacy of Combination Therapy with DOAC and
 Fondaparinux in Gynecology Patients with Venous Thromboembolism
 Norihito Yoshioka (St. Marianna University School of Medicine) et al.

17:00~17:40

Group 30 Oncofertility

Chair: Dokkyo Medical University Saitama Medical Center Shuichi Sakamoto

ISP-30- 1. Long-term oncologic and reproductive outcomes of a fertility-sparing management using high-dose medroxyprogesterone acetate (MPA) for endometrial adenocarcinoma or atypical endometrial hyperplasia

Emi Yokoyama (Tohoku University Hospital) et al.

ISP-30- 2. Fertility-sparing surgery of malignant transformation arising from mature cystic teratoma of the ovary

Nobuhisa Yoshikawa (Nagoya University) et al.

ISP-30- 3. A questionnaire study of awareness of the foster care system and adoption for the young cancer survivor in Japan

Kouhei Sugimoto (Dokkyo Medical University Saitama Medical Center) et al.

ISP-30- 4. Evaluation of fertility preservation in 25 patients with hematologic malignancies at our hospital

Yuta Kasahara (The Jikei University Hospital) et al.

ISP-30- 5. The best and safest strategy for fertility preservation for cancer patients in Japan Koichi Kyono (Kyono ART Clinic) et al.

ISP-30- 6. Fertility preservation by ovarian tissue cryopreservation for adolescent and young adult patients in our department

Yuta Fujii (Hyogo College of Medicine) et al.

ISP-30- 7. Two cases of the fertility preservation for ovarian malignant tumor to reconfirm the importance of the oncofertility network

Naoko Kida (Kansai Medical University) et al.

ISP-30- 8. A case of retroperitoneal Ewing sarcoma in early pregnancy

Masashi Noguchi (Nagasaki University Hospital) et al.

ISP-30- 9. Fertility Preservation before treatment of malignant disease

Shiho Takeuchi (Tokyo Medical and Dental University) et al.

17:00~17:40

Group 31 Candidate for Exchange program 1

Chair: Niigata University Masayuki Sekine

ISP-31- 1. Diagnostic value of bioactive factors from blood sample for the early detection of uterine sarcoma

Hideaki Tsuyoshi (University of Fukui) et al.

ISP-31- 2. Survival impact of reduction surgery for elderly or obese patients with endometrial cancer

Junko Minato (Tohoku University Hospital) et al.

ISP-31 3. Introduction of transperitoneal paraaortic lymphadenectomy for endometrial cancer

Eiji Kobayashi (Osaka University) et al.

ISP-31- 4. Germline BRCA1/2 mutations in patients with epithelial ovarian cancer

Akiko Abe (Tokushima University) et al.

ISP-31- 5. The refractoriness to anti-VEGF therapy in ovarian cancer is mediated via infiltration of GM-CSF-induced MDSCs

Naoki Horikawa (Shiga Medical Center for Adults) et al.

ISP-31- 6. Overexpression of cyclase-associated protein 2 (CAP2) is a new prognostic indicator in Type II ovarian cancer

Masataka Adachi (Keio University) et al.

ISP-31- 7. The histone methyltransferase, SUV39H2, involved in resistance to anti-cancer treatment with γ -H2AX production, is a potent therapeutic target in high-grade serous ovarian carcinoma

Kenbun Sone (The University of Tokyo Hospital) et al.

ISP-31- 8. Safety and efficacy of neoadjuvant chemotherapy with bevacizumab in advancedstage peritoneal/ovarian cancer patients

Kazunari Fujino (Juntendo University Hospital) et al.

17:40~18:20 ※ポスター会場①

Group 32 Candidate for Exchange program 2

Chair: Asahikawa Medical University Yasuhito Kato

- ISP-32- 1. Differential requirement of amino acids on cell survival of ovarian cancer cells Akiko Furusawa (Tokyo Medical and Dental University) et al.
- ISP-32- 2. Serum CA125 level after neoadjuvant chemotherapy is predictive of prognosis and surgical outcomes in advanced epithelial ovarian cancer

Tomohiko Matsuhashi (Nippon Medical School) et al.

ISP-32- 3. Investigation for characteristics of clear cell carcinoma between developing and non-developing endometriosis

Yu Horibe (Tokyo Women's Medical University Hospital) et al.

ISP-32- 4. Clinical impact of routine DNA genotyping on the management of suspected early hydatidiform mole

Yoko Aoyagi (Oita University Hospital) et al.

ISP-32- 5. Second curettage as initial treatment for molar pregnancy: who can skip it?

Shingo Mivamoto (Showa University) et al.

ISP-32- 6. Limitations of hormonal therapy in adenomyosis patients

Chiho Miyagawa (Kindai University Hospital) et al.

ISP-32- 7. The frequencies of peripheral blood regulatory T cells and activated lymphocytes of the premature ovarian insufficiency

Mutsumi Kobayashi (Toyama University Hospital) et al.

ISP-32- 8. Validity of assisted reproductive technology after laparoscopic myomectomy

Takashi Nakasuji (Tokyo Medical and Dental University) et al.

17:00~17:40

Group 33 Candidate for Exchange program 3

Chair: Tohoku University Hidekazu Nishigori

 ISP-33- 1. Prevention of postpartum depression by the intake of omega-3 polyunsaturated fatty acids (PUFAs)

Yoko Nagayasu (Osaka Medical College) et al.

ISP-33- 2. Are treatment interventions for early onset gestational diabetes based on the International Association of Diabetes and Pregnancy Study Groups criteria effective?

Yuko Hagiwara (Yokohama City University Medical Center) et al.

ISP-33- 3. Three cases of cesarean scar pregnancy treated with conservative surgery

Haruka Ueda (Niigata University Medical and Dental Hospital) et al.

ISP-33- 4. Non-invasive positive pressure ventilation for preeclamptic women ; 4 case reports

Kohei Hamada (Kyoto University Hospital) et al.

ISP-33- 5. Study on the Kinetics of Pregnancy-Related Proteins in Primates

Hirofumi Kashiwagi (Tokai University) et al.

ISP-33- 6. Change in fetal cardiac output distribution to the placenta with ritodrine tocolysis Ryuichi Shimaoka (Gifu University) et al.

17:40~18:20 ※ポスター会場①

Group 34 Candidate for Exchange program 4

Chair: Nippon Medical School Yoshimitsu Kuwabara

ISP-34- 1. Post-surgical maintenance of cardiac function in an ex vivo premature lamb model

Yusaku Kumagai (Tohoku University) et al.

- ISP-34- 2. What is useful ultrasound screening for congenital heart disease in the first trimester?
 - Mayumi Tokunaka (Showa University Hospital) et al.
- ISP-34- 3. Analysis of fetal gross movements in light for date infants by a fetal movement acceleration measurement recorder
 - Masayoshi Morita (Teikyo University Hospital) et al.
- ISP-34- 4. Elastography for predicting time to delivery at third trimester
 - Yoshie Yo(Kindai University Hospital) et al.
- ISP-34- 5. Timing of birth for women with a twin pregnancy in the past three years

 Aya Yoshida (Kansai Medical University) et al.
- ISP-34- 6. Outcomes of placental abruption in 75 patients
 - Kazuma Onishi (Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital) et al.
- ISP-34- 7. Hyperfibrinolysis with Consumptive Coagulopathy in Amniotic Fluid Embolism Tomoaki Oda (Hamamatsu University School of Medicine) et al.

第2日 5月11日(金)ポスター会場②

仮設テント:ポスター会場

11:10~11:50

Group 35 Cervical cancer/CIN/SIL 4

Chair: Kumamoto University Hironori Tashiro

ISP-35- 1. Identification of risk factors in patients with positive lymph node after radical hysterectomy for early stage cervical cancer

Soyi Lim (Gachon University Gil Medical Center, Korea) et al.

ISP-35- 2. Sentinel lymph node mapping using indocyanine green in cervical cancer

Sahori Kakuda (Osaka University) et al.

ISP-35- 3. Extraperitoneal Radical Trachelectomy With Pelvic Lymphadenectomy : A Novel Fertility-Preserving Option for Early Stage Cervical Cancer Patients

Kazunobu Yagi (Osaka University) et al.

ISP-35- 4. Identifying a candidate population for ovarian conservation in young women with clinical stage IB-IIB cervical cancer

Imari Deura (St. Marianna University School of Medicine) et al.

ISP-35- 5. Salvage hysterectomy after concurrent chemoradiotherapy for advanced cervical cancer

Natsuko Kamiya (Yokohama City University Hospital) et al.

ISP-35- 6. Efficacy of neoadjuvant chemotherapy plus radical hysterectomy for stage IB2, IIA2 and IIB cervical cancer

Takahito Ashihara (Shiga Medical Center for Adults) et al.

ISP-35- 7. Comparison of laparoscopic and open radical hysterectomies in the surgical treatment of stage IB1 cervical cancer in a single institute in Japan

Tsuyoshi Takiuchi (Osaka University) et al.

ISP-35- 8. A retrospective study of uterine arterial neoadjuvant chemotherapy plus radical hysterectomy versus radical hysterectomy alone in patients with stage IB2 to IIB uterine cervical cancer

Takashi Suzuki (Seirei Hamamatsu General Hospital) et al.

ISP-35- 9. Radical hysterectomy after radiotherapy for recurrent or persistent cervical cancer

Seiji Mabuchi (Osaka University) et al.

17:40~18:20

Group 36 Cervical cancer/CIN/SIL 5

Chair: Jichi Medical University Hiroyuki Fujiwara

 ISP-36— 1. The efficacy of national HPV vaccination program against cervical cancer in Japanese young women

Risa Kudo (Niigata University) et al.

- ISP-36— 2. Correlation among HPV-derived transcriptomes, HPV types and CIN grades Satoshi Baba (The University of Tokyo) et al.
- ISP-36- 3. Phase I/IIa study of photodynamic therapy using talaporfin sodium and diode laser (L-PDT) for Cervical Intraepithelial Neoplasia

Masaru Sakamoto (Sasaki Foundation Kyoundo Hospital) et al.

 $\begin{tabular}{ll} ISP-36-&4. & Posttreatment human papillomavirus testing for residual or recurrent high-grade cervical intraepithelial neoplasia: a pooled analysis \\ \end{tabular}$

Mamiko Onuki (Showa University) et al.

- ISP-36- 5. Conservative management for cervical intraepithelial neoplasia during pregnancy
 Misato Ogino (Kobe University) et al.
- ISP-36- 6. Decision-making with fathers should influence the acceptance of HPV vaccine for their daughters

Mariko Shindo (Osaka University) et al.

ISP-36- 7. Human papilloma virus (HPV) vaccination in Japan : An estrangement between self-reported information and municipal personal record of HPV vaccination in Japanese young women

Manako Yamaguchi (Niigata University) et al.

ISP-36- 8. Management of cervical high-grade squamous intraepithelial lesions (HSIL) during pregnancy

Yusuke Matsuura (Nursing of Human Broad Development, University of Occupational and Environmental Health) et al.

ISP-36- 9. Physicians' skill may be a prognostic factor of cervical intraepithelial neoplasia after CO₂ laser vaporization

Koichiro Kawano (Kurume University) et al.

ISP-36- 10. Interim results of a cohort study assessing efficacy of cervical cytology and HPV testing as modalities for population-based cervical cancer screening

Tohru Morisada (Keio University) et al.

11:10~11:50

Group 37 Cervical cancer/CIN/SIL 6

Chair: Kindai University Sakai Hospital Kaichiro Yamamoto

- ISP-37- 1. Introduction of HPV test for cervical cancer screening in Cambodia as low resource setting
 - Maryan Chhit (Khmer-Soviet Friendship Hospital, Cambodia) et al.
- ISP-37- 2. Comparative Study of the effect of cervical cancer screening by Liquid-Based Cytology and High-Risk Human Papillomavirus detection in Inner Mongolia Xianzhi Duan (Tongren Hospital of Beijing, China) et al.
- ISP-37- 3. Cervical Cancer in Women with Squamous Cell Carcinoma Cytology
 - Chumnan Kietpeerakool (Khon Kaen University, Thailand) et al.
- ISP-37- 4. A study of the effectiveness and safety of Bevacizumab combination therapy for advanced or recurrent cervical cancer

Satomi Kameda (Tohoku University Hospital) et al.

ISP-37- 5. Examination of adverse gastrointestinal tract events in cases using Bevacizumab for cervical cancer in our department

Satoshi Nishiyama (Saga University) et al.

ISP-37- 6. Clinical outcomes of bevacizumab in five recurrent patients with uterine cervical cancer after concurrent chemoradio therapy

Takashi Ushiwaka (Kochi Medical School) et al.

ISP-37- 7. Radiation therapy for para-aortic lymph node metastasis diagnosed by various imaging modalities and prognosis for advanced uterine cervical cancer

Kaho Suzuki (Kobe University) et al.

ISP-37- 8. Treatment outcome of the definitive high-dose-rate brachytherapy combined with external beam pelvic radiotherapy for patients with uterine cervical cancer Hiroshi Matsushima (Kyoto Prefectural University of Medicine) et al.

ISP-37- 9. Two cases of uterine cervical adenocarcinoma with successful systemic chemotherapy

Hiroshi Kaneda (Juntendo University Shizuoka Hospital) et al.

ISP-37- 10. Limitation of postoperative adjuvant chemotherapy (paclitaxel and carboplatin) for treatment of cervical cancer stage I/II patients at high risk of recurrence

Yuki Okuma (Nihon University) et al.

17:40~18:20

Group 38 Endometrial cancer 3

Chair: Kansai Medical University Masato Kita

- ISP-38- 1. A case of acute abdominal pain caused by the infarcted parasitic leiomyoma Yoojung Lee (Gachon University of Medicine and Science, Korea) et al.
- ISP-38- 2. The value of serum LDH, CRP and D-dimer levels for differentiation among degenerated leiomyoma, variant type leiomyoma and leiomyosarcoma

Kaori Kiuchi (Dokkyo Medical University) et al.

ISP-38- 3. Preoperative prediction of uterine sarcoma using tumor to subcutaneous fat signal intensity ratio by T2 weighted imaging (TFSIR) and apparent diffusion coefficient (ADC) on magnetic resonance imaging (MRI)

Yasuko Oka (Komatsu Municipal Hospital) et al.

ISP-38- 4. Coincidental detection of diffuse large B-cell lymphoma in the inner inguinal lymph node of a woman undergoing pelvic lymph node dissection for uterine endometrial cancer

Kazuaki Ohashi (Nagasaki University Hospital) et al.

- ISP-38- 5. A case of leiomyosarcoma arising from subserosal leiomyoma
 Maiko Yamaguchi (Juntendo University Hospital) et al.
- ISP-38- 6. A rare case of a primary uterine perivascular epithelioid cell tumor (PEComa) treated with robotic hysterectomy and adjuvant chemotherapy

Mizuki Isayama (University of Tsukuba) et al.

ISP-38- 7. Multimodality therapy for the patients with advanced or recurrent uterine leiomyosarcoma

Mizuho Kuroshima (Kobe University) et al.

ISP-38- 8. Use experience of eribulin for recurrent uterine carcinosarcoma

Masato Nishimura (Tokushima University) et al.

ISP-38- 9. Uterine sarcoma: 20-year Our hospital Experience of 21 Cases

Takanori Shimizu (Hachinohe City Hospital) et al.

11:10~11:50

Group 39 Endometrial cancer 4

Chair: International University of Health and Welfare Mita Hospital Nobuyuki Susumu

ISP-39- 1. Development of a rapid preoperative diagnosis method to assess lymph node metastasis in uterine cancer

Emiko Yoshida (Juntendo University) et al.

ISP-39- 2. The real frequency of localized para-aortic lymph node metastasis in endometrial cancer

Asami Toki (Tohoku University Hospital) et al.

ISP-39 3. Is tumor size really an independent predictor of lymph node metastasis in endometrioid endometrial cancer?

Kento Ohnishi (Center Hospital of the National Center for Global Health and Medicine) et al.

ISP-39- 4. Administration of cabergoline contributes to preserving fertility in young hyperprolactinemic patients with endometrial cancer treated with medroxyprogesterone acetate

Munekage Yamaguchi (Kumamoto University) et al.

- ISP-39- 5. A retrospective study of endometrial cancer in elderly women aged 80 or older Souta Tanaka(Hachinohe City Hospital) et al.
- ISP-39- 6. Prognostic comparison between laparotomy and laparoscopic surgery for earlystage endometrial cancer

Mayu Shiomi (Osaka University) et al.

ISP-39- 7. Para-aortic lymphadenectomy at primary surgery is critical for treatment of endometrial cancer

Osamu Kobayashi (Nihon University Itabashi Hospital) et al.

ISP-39- 8. A risk factor of treatment failure of conservative management of atypical endometrial hyperplasia and endometrial carcinoma

Masafumi Yasunaga (Kyushu University Hospital) et al.

ISP-39- 9. Diagnostic effectiveness of Sentinel Lymph Node Mapping: Comparison with MRI, PET/CT in early cervical and endometrial cancer Jeong-Yeol Park (University of Ulsan College of Medicine, Asan Medical Center,

Korea) et al.

Group 40 Ovarian/Tubal/Peritoneal cancer 4

Chair: Kawasaki Medical School Mitsuru Shiota

ISP-40- 1. Efficacy and Safety of En bloc Total Parietal Peritonectomy for Primary or Recurrent Ovarian Cancer with Peritoneal Carcinomatosis

Aeran Seol (Seoul National University College of Medicine, Korea) et al.

ISP-40- 2. Reporting of Double Cancer Survivor: 10 years survival from Synchronous Ovarian and Colorectal Tumour Post-Surgery Post Chemotherapy

Eugene Leong Weng Kong (Taylors University School of Medicine,

Malaysia) et al.

ISP-40- 3. Preoperative neutrophil/lymphocyte ratio and CA125 may be predictive factors for recurrence in stage I ovarian clear cell carcinoma

Yuji Takei (Jichi Medical University) et al.

ISP-40- 4. Risk Factors for Venous Thromboembolism in Women with Ovarian Cancer

Tetsuya Kawaguchi (Kobe University) et al.

ISP-40- 5. Incidence and timing of venous thromboembolism in patients with ovarian cancer undergoing primary treatment

Mizuki Uenaka (Kobe University) et al.

ISP-40- 6. Clinical characteristics of patients with ovarian cancer developing VTE

Kohei Yamaguchi (The University of Tokyo Hospital) et al.

ISP-40- 7. Efficacy and safety of bevacizumab for advance and recurrent Müllerian carcinoma

Hiroaki Matsubara (Osaka City University) et al.

ISP-40- 8. Retrospective analysis of stage II~IV epithelial ovarian cancer patients treated with systematic pelvic and para-aortic lymphadenectomy followed by chemotherapy

Koutarou Sueoka (Yamaguchi University) et al.

ISP-40- 9. Drug-induced aortitis in a patient with ovarian cancer treated with bevacizumab combination therapy

Soshi Kusunoki (Juntendo University) et al.

ISP-40- 10. Identification of Potential Biomarkers of recurrent advanced ovarian cancer during bevacizumab maintenance therapy as part of first-line treatment

Ryosuke Saito (The Jikei University School of Medicine) et al.

11:10~11:50

Group 41 Ovarian/Tubal/Peritoneal cancer 5

Chair: Tokyo Medical University Fumitoshi Terauchi

ISP-41- 1. Prognostic value of preoperative lymphocyte-monocyte ratio in elderly patients with advanced epithelial ovarian cancer

Hyun Joo Lee (Pusan National University Hospital, Korea) et al.

ISP-41- 2. Differences in correlation of Progression-Free Survival and Overall Survival by clinical variables in epithelial ovarian cancer

> Hyea Park (Samsung Medical Center, Sungkyunkwan University School of Medicine, Korea) et al.

ISP-41- 3. Pathological findings and prognosis of ovarian epithelial-borderline malignant tumors

Yoshiko Oyama (Tohoku University) et al.

ISP-41- 4. Primary Fallopian Tube Cancer: Clinicopathological Features of Tumor occupying Lesions

Shoko Sakurada (Tohoku University) et al.

ISP-41- 5. Treatment-free interval (TFI) is useful not only for choice of second-line agents but for prognostic factor in ovarian high-grade serous carcinoma cases stage III/ IV

Remi Hasegawa (Nihon University) et al.

ISP-41- 6. Oligoclonality following chemotherapy in high grade serous ovarian cancer
Hisamitsu Takaya (Kindai University) et al.

ISP-41- 7. Difference in prognosis and prognostic factors of patients with epithelial ovarian cancer according to age

Masahiro Shimomura (Osaka City University) et al.

ISP-41- 8. Hyperfibrinogenemia shortens progression-free survival in women with ovarian cancer

Yuka Murata (Kobe University) et al.

ISP-41- 9. Diagnostic utility of peritoneal effusion cell-block and immunocytochemistry for advanced-stage ovarian/peritoneal cancer prior to neoadjuvant chemotherapy Yasuhiko Ebina (Kobe University) et al.

17:40~18:20

Group 42 Ovarian/Tubal/Peritoneal cancer 6

Chair: Kindai University Nara Hospital Hidekazu Oi

ISP-42- 1. Effect of red ginseng on genotoxicity and health-related quality of life after adjuvant chemotherapy in patients with epithelial ovarian cancer: a randomized, double blind, placebo-controlled trial

Soo Jin Park (Seoul National University College of Medicine, Korea) et al.

ISP-42- 2. Practice patterns of debulking surgery for advanced-stage ovarian cancer: analysis from national and society-sponsored surveys

Soyeon Kweon (Seoul National University College of Medicine, Korea) et al.

ISP-42- 3. The clinical significance of tertiary lymphoid structures (TLS) and tumor infiltrating B cells in ovarian cancer

Masayo Ukita (Kyoto University) et al.

ISP-42- 4. Management of a ruptured perivascular epithelioid cell tumor during and after pregnancy: a case report

Kenta Nitahara (Japanese Red Cross Ishinomaki Hospital) et al.

ISP-42- 5. A case of a postmenopausal woman with a spontaneously ruptured seromucinous borderline tumor of the ovary: A review of the literature

Mamiko Ohta (Chibune General Hospital) et al.

ISP-42- 6. Advanced ovarian cancer developing in a cyst of the canal of Nuck

Kazue Togashi (Japanese Red Cross Akita Hospital) et al.

ISP-42- 7. A case of neuroendocrine carcinoma developing from the broad ligament of the uterus

Yui Itonaga (Oita University Hospital) et al.

11:10~11:50

Group 43 Ovarian/Tubal/Peritoneal cancer 7

Chair: Keio University Eiichiro Tominaga

ISP-43- 1. Incidence and clinical outcomes of ovarian clear cell carcinoma in surgically resected endometrioma

Jinju Lee (Seoul St. Mary's Hospital, The Catholic University of Korea,

Korea) et al.

ISP-43- 2. Primary retroperitoneal Müllerian adenocarcinoma (PRMA): A Case Report and Review of the Literatures

Chia-Yi Lee (National Taiwan University Hospital, Taiwan) et al.

ISP-43- 3. Alpha-fetoprotein-producing ovarian malignant tumor in a postmenopausal woman

Shozo Yoshida (Osaka Gyoumeikan Hospital) et al.

ISP-43- 4. A case of Serous Tubal Intraepithelial Carcinoma detected by abnormal cervical cytology

Masahiro Sumitomo (Shiga Medical Center for Adults) et al.

ISP-43- 5. Malignant ovarian tumors diagnosed after laparoscopic surgery at a general gynecological unit

Yoko Hasumi (Mitsui Memorial Hospital) et al.

ISP-43- 6. Endometrioid adenocarcinoma arising from deep infiltrating endometriosis involving the bladder: A case report and review of the literature

Yosuke Tarumi (Kyoto Prefectural University of Medicine) et al.

17:40~18:20

Group 44 Other malignant or benign tumor 2

Chair: Oita University Kaei Nasu

ISP-44- 1. Video endoscopic inguinal lymphadenectomy via the hypogastric subcutaneous approach (VEIL-H): A preliminary series report

Yifeng Wang (Southern Medical University, China) et al.

ISP-44- 2. Repurposing itraconazole as an anticancer agent: rapid clinical response of metastatic vaginal melanoma

Roze Nakata (The Hospital of Hyogo College of Medicine) et al.

 $\begin{tabular}{ll} ISP-44-&3. &An application limits by the containing the $ETV6-NTRK3$ fusion gene: the first case report \end{tabular}$

Akimasa Takahashi (Nagahama City Hospital) et al.

ISP-44 4. Trousseau's syndrome associated with gynecologic malignancies. Clinicopathologic features of 11 cases

Kazuya Onuma (Shonan Kamakura General Hospital) et al.

ISP-44- 5. Vulvar apocrine adenocarcinoma responded to weekly paclitaxel and biweekly bevacizumab. A case report

Shinichiro Saeki (The Hospital of Hyogo College of Medicine) et al.

- ISP-44- 6. Three different clinical courses and the conservative management of uterine arteriovenous malformation (AVM) diagnosed by color Doppler ultrasonography Madoka Tsuzuki (Itabashi Chuo Medical Center) et al.
- ISP-44- 7. A case of lymphangiomyomatosis with suspected primary peritoneal cancer and struggling to control ascites

Ken Matsukuma (Kurume University Hospital) et al.

ISP-44- 8. A case of amelanotic malignant melanoma arising from vagina

Takashi Hirayama (Juntendo University Hospital) et al.

- ISP-44 9. Isolated fallopian tube torsion diagnosed and treated with laparoscopic surgery Yuji Takahashi (Kyoto Prefectural University of Medicine) et al.
- ISP-44- 10. Primary peritoneal malignant mesothelioma with massive ascites: a case report Yavoi Higuchi (Kochi Medical School) et al.

11:10~11:50

Group 45 Perinatal care 2

Chair: Dokkyo Medical University Susumu Miyashita

- ISP-45- 1. Epidemiology of prolonged pregnancy in Mongolia: Incidence and risk factors Saruulsaikhan Erdenebat (Mongolian National University of Medical Sciences, Mongolia) et al.
- ISP-45- 2. JICA projects to disseminate cardiotocography in Mongolia

Kazutomo Ohashi (Osaka University, Division of Health Sciences) et al.

ISP-45- 3. An effective introduction and practice of "DRCBRAVADO" as an educational tool of Cardiotocogram for medical students in bed-side learning

Mariko Watanabe (Dokkyo Medical University) et al.

- ISP-45- 4. Imprisoned and Pregnant : Evaluating the Use of Correctional Restraints Mallory Fox (University of Florida College of Medicine, USA) et al.
- ISP-45- 5. Determinants of Utilization of Antenatal Care Services among Women in Kungyangone Township, Myanmar

San San Myint (University of Medicine 1, Myanmar)

ISP-45- 6. Transvaginal And Colour Doppler Ultrasound In Pregnant Women With Previous Caesarean Scar With Placental Praevia

Mar Ma Wynn (University of Medicine 1, Myanmar)

ISP-45- 7. Fear of childbirth and associated factors among pregnant women in Siriraj Hospital

Matus Phunyammalee (Siriraj Hospital, Thailand) et al.

ISP-45- 8. Evidence of exposure to chemicals and heavy metals during pregnancy in Japanese women

Ryo Maekawa (Yamaguchi University) et al.

ISP-45- 9. Impact of maternal inadequate gestational weight gain on neonatal birth weight in Japanese women

Satoru Ikenoue (Keio University) et al.

ISP-45- 10. Fluctuation of Oral Microbiome during pregnancy in Maternity Log Study
Riu Yamashita (Tohoku University Tohoku Medical Megabank
Organization) et al.

17:40~18:20

Group 46 FGR

Chair: Nippon Medical School Tama Nagayama Hospital Akihito Nakai

ISP-46- 1. Expression of progesterone induced blocking factor (PIBF) in women with severe fetal growth restriction

Tomohiro Oba (Showa University) et al.

ISP-46- 2. Systolic and diastolic time interval ratios of the ductus venosus flow velocity waveform in fetal growth restriction

Natsuko Yokoi (Osaka City University) et al.

ISP-46- 3. Biomarkers for predicting delivery before 34 weeks of gestation in fetal growth restriction

Akihiro Kawashima (Showa University) et al.

ISP-46- 4. Superb microvascular imaging of the fetus, placenta, and umbilical cord Kenta Yamamoto(Kagawa University) et al.

ISP-46- 5. Fetal echocardiographic evaluation of dilated cardiomyopathy during mouse pregnancy

Takao Owa (National Cerebral and Cardiovascular Center, Department of Regenerative Medicine) et al.

ISP-46- 6. Relationship between maturation of the autonomic nervous system in fetal growth restricted mice and onset of cerebral hemorrhage at ischemia-reperfusion load Takahiro Minato (Tohoku University Hospital) et al.

ISP-46- 7. Low socioeconomic status is a risk factor for small for gestational age birth in Japan

Ken Yamaguchi (Kyoto Medical Center) et al.

ISP-46- 8. Clinical significance of umbilical venous NT-proBNP and troponin T in the cases with at-risk for fetal circulatory compromise before 36 weeks' gestation

Takaaki Shinagawa (Kurume University Hospital) et al.

11:10~11:50

Group 47 Preterm labor 2

Chair: Jichi Medical University Saitama Medical Center Kenjiro Takagi

ISP-47- 1. 17-alpha-hydroxyprogesterone caproate combined maintenance tocolysis could
prolong gestational period in case of preterm labor with mild intra-amniotic
inflammation

Satoshi Yoneda (University of Toyama) et al.

- ISP-47- 2. Neurological outcome in preterm infants with maternal Tocolytic management Emi Kino (University of Miyazaki Hospital) et al.
- ISP-47- 3. Changes of leukocyte migration during pregnancy

Ai Takamizu (Juntendo University) et al.

ISP-47- 4. Longitudinal Lifestyle Monitoring for Prediction of Preterm Birth in Maternity Log Study

> Daisuke Ochi (NTT DOCOMO, INC./Tohoku University Tohoku Medical Megabank Organization) et al.

ISP-47- 5. The effect of antepartum MgSO₄ therapy on pathological chorioamnionitis and infants outcome

Masanao Ohashi (Miyazaki Medical Association Hospital) et al.

ISP-47- 6. Accuracy of maternal clinical signs for prediction of histological chorioamnionitis in preterm labor

Yohei Maki (University of Miyazaki) et al.

17:40~18:20

Group 48 Fetal complication 2

Chair: Shinshu University Makoto Kanai

ISP-48- 1. Case report of spontaneous septostomy of the dividing membrane accompanied with cord entanglement in a monochorionic diamniotic twin: Importance of identification of dividing membrane

Tomoki Kotera (Takatsuki General Hospital) et al.

ISP-48- 2. The outcome of fetoscopic laser photocoagulation using the Solomon technique versus selective coagulation for twin-twin transfusion syndrome

Seiji Kanazawa (National Center for Child Health and Development) et al.

ISP-48- 3. Meckel-Gruber syndrome involving both fetuses in a DD twin pregnancy, a case report

Shoko Ochiai (Dokkyo Medical University Hospital) et al.

ISP-48- 4. What should we know about Turner syndrome before pregnant?

-2 cases with different outcomes-

Tomohiro Arai (Center for Maternal, Fetal and Neonatal Medicine, Saitama Medical Center, Saitama Medical University) et al.

 $\ \, \text{ISP-48-} \quad 5. \quad \text{Case Report} : \text{The outcomes of fetal bradycardia}$

Rvoko Ono (Sakakibara Heart Institute) et al.

ISP-48- 6. Prenatal diagnosis of hypospadias in a tertiary care center : a retrospective analysis of $10~{\rm years}$

Takashi Kaji (Tokushima University Hospital) et al.

- ISP-48- 7. Novel technique to assess fetal fractional shortening by two-dimensional tracking
 Sumito Nagasaki (Toho University Omori Medical Center) et al.
- ISP-48- 8. A case with BASM (biliary atresia splenic malformation) syndrome diagnosed with agenesis of inferior vena cava without visceral heterotaxy in utero

Kunio So (Kurume University Hospital) et al.

ISP-48- 9. Prenatal genetic diagnosis for neonatal alloimmune thrombocytepenia for women with the history of neonatal alloimmune thrombocytepenia

Akari Shirakuni (Kobe University Hospital) et al.

ISP-48- 10. Chromosomal abnormalities: ultrasonographic soft signs in first and second trimester—an evidence-based review

Coralia Stefanescu (Euromaterna Hospital, Romania) et al.

11:10~11:50

Group 49 Maternal complication 4

Chair: Saitama Medical University Yoshimasa Kamei

ISP-49- 1. Intracranial pathologies during pregnancy

Yuri Niwa (Nagoya University) et al.

ISP-49- 2. Five cases of intracranial diseases in pregnant women

Chie Koide (Hiroshima University Hospital) et al.

- ISP-49- 3. Impact of maternal schizophrenia on protein expression of fetal immune system

 Yoshinori Moriyama (Nagoya University) et al.
- $ISP\text{--}49\text{-}\quad 4.\quad Maternal\ myasthenia\ gravis\ \vdots\ Management\ of\ labor\ and\ delivery$

Kotoi Tsurane (Tokyo Metropolitan Tama Medical Center) et al.

- ISP-49 5. Case Report : Nonimmune Fetal Hydrops Following Maternal Suicide Attempt Kristen Elmezzi (Walter Reed National Military Medical Center, USA) et al.
- ISP-49 6. Postnatal depression associated with pregnancy induced by assisted reproductive technology

Haruhiko Udagawa (The Jikei University School of Medicine) et al.

ISP-49- 7. Clinical study of pregnant women with psychotic disorders

Sara Takahashi (Hachinohe City Hospital) et al.

ISP-49- 8. The Effect of the Edinburgh Postnatal Depression Scale at Postpartum Checkup

Asuka Tachi (Nagoya University) et al.

17:40~18:20

Group 50 Maternal complication 5

Chair: Fujita Health University Takao Sekiya

ISP-50- 1. Obstetric and neonatal complications in pregnancies achieved by oocyte donation in our institution

Naoko Takahashi (Osaka University) et al.

ISP-50- 2. Analysis on the perinatal outcome of pregnant patients complicated with inflammatory bowel disease

Kunihiko Yoshida (Niigata University Medical and Dental Hospital) et al.

ISP-50- 3. Live birth after intravenous treatment for uterine arteriovenous malformation, a case report

Kazumi Tada (Dokkyo Medical University) et al.

ISP-50- 4. Mild paroxysmal nocturnal hemoglobinuria in pregnancy, that was difficult to distinguish from hemolysis, elevated liver enzymes, and low platelet count syndrome: A case report

Youhei Tsunoda (Nippon Medical School) et al.

ISP-50- 5. Uterine prolapse during pregnancy: two case reports

Yuta Momono (Tohoku University Hospital) et al.

ISP-50- 6. Shakuyakukanzoto could be an effective treatment for a pregnant women with lumbar disk herniation and crampy pain

Miyuki Terata (Iwate Medical University) et al.

11:10~11:50

Group 51 Abnormal delivery 2

Chair: Kobe University Masashi Deguchi

ISP-51- 1. Predicting Data-based Induction Interval of Labor Induction with Titrated Oral Misoprostol Solution

Shi-Yann Cheng (China Medical University of Taiwan, Taiwan) et al.

 ISP-51- 2. Comparison of maternal and perinatal morbidity in term breech presentation between elective and emergency cesarean section

Benjamas Kitnithee (Siriraj Hospital, Mahidol University, Thailand) et al.

ISP-51- 3. Uterine tonic contraction after initiation of oxytocin infusion for induction or augmentation of labor

Takahiro Yamashita (Aiiku Hospital) et al.

ISP-51- 4. Can we stop Oxytocin after entering the active phase of labor for fetal growth restriction (FGR) babies; pros. or cons?

Sayuri Iwai (Osaka University) et al.

ISP-51 5. Risk factors for nonreassuring fetal status before labor in the presence of premature rupture of membranes

Urara Idei (Yamagata University Hospital) et al.

ISP-51- 6. A Potential Contribution of Bradykinin Receptor B1 Agonist to the Mechanism of Development of Myometrial Interstitial Edema

Yi Shen (Hamamatsu University School of Medicine) et al.

ISP-51- 7. Pregnancy outcomes subsequent to uterine arterial embolization for severe postpartum hemorrhage

Hitomi Imafuku (Kobe University Hospital) et al.

 $ISP\mbox{-}51\mbox{-} \ \ 8. \ \ Promotion of a new technique for cesarean section at full dilatation}$

Kotaro Shimura (Osaka University) et al.

17:40~18:20

Group 52 Abnormal delivery 3

Chair: Yamaguchi University Ryo Maekawa

ISP-52- 1. Non-Invasive Monitoring of the Cardiac Effects of Continuous Intravenous Oxytocin Infusion during Cesarean Delivery

Kayo Tanaka (Mie University) et al.

ISP-52- 2. Evaluation of circulatory dynamics during cesarean section using electrical cardiometry

Atsuko Hichijo (Tokushima University) et al.

ISP-52- 3. Outcome of twin delivery: A single center experience

Masami Hayashi (Osaka City University) et al.

ISP-52- 4. A study of factors associated with increased lactic acid levels in umbilical arterial blood

Ryuhei Kurashina (Nippon Medical School Hospital) et al.

ISP-52- 5. The Origin of Inflammation in the Pathophysiology of Postpartum Acute Myometritis involved in Amniotic Fluid Embolism

Divyanu Jain (Hamamatsu University School of Medicine) et al.

ISP-52- 6. A case of unscarred uterine rupture: A rare and difficult diagnosis

Shihori Nishizawa (Juntendo University Shizuoka Hospital) et al.

ISP-52- 7. What kind of risk factors can foresee the postpartum hemorrhage after vaginal delivery in uncomplicated pregnancy?

Kazuhiro Nishioka (Yamato Takada Municipal Hospital) et al.

11:10~11:50

Group 53 Abnormal pregnancy

Chair: Tokyo Women's Medical University Medical Center East Koichiro Takagi

- ISP-53- 1. Clinical outcome of linear salpingotomy for a different lesion of tubal pregnancy Toshimichi Oki (Kagoshima University School of Health Sciences) et al.
- ISP-53- 2. Impact of parity on the transition of fetal presentation transition during pregnancy Shogo Yamaguchi (The University of Tokyo Hospital) et al.
- ISP-53- 3. A case review of methotrexate therapy in ectopic pregnancy

Yoshihide Inayama (Toyooka Hospital) et al.

ISP-53- 4. Two cases of uterine rupture occurred during second trimester

Ryo Uemura (Osaka City University) et al.

ISP-53- 5. Obstetric Outcome of Subsequent Pregnancy following Uterine Artery Embolization for postpartum hemorrhage

Mariko Jitsumori (Osaka University) et al.

ISP-53- 6. Epidemiology of ectopic pregnancy: incidence, risk factors and outcomes in Mongolia

Tsevelmaa Baldan (Marie Stopes International Mongolia, Mongolia) et al.

17:40~18:20

Group 54 Placenta 2

Chair: University of Miyazaki Masatoki Kaneko

ISP-54- 1. CD59 expression on human extravillous trophoblast may be regulated by surrounding microenvironment

Masashi Ueda (Kyoto University) et al.

ISP-54- 2. Serum autotaxin level as a biomarker for placental function

Yumiko Nishimori (The University of Tokyo) et al.

ISP-54- 3. Transport mechanism of nicotine in BeWo cells

Takako Sadakane (Hiroshima University) et al.

 $ISP-54- \quad \mbox{4.} \quad Accumulation of prostaglandin E_2 in amniotic fluid and expression of PGE synthases and transporters during human labor$

Nanase Takahashi (Juntendo University Hospital) et al.

ISP-54- 5. Expression of TrkB isoforms in FGR and non-FGR

Akane Kondo (Shikoku Medical Center for Children and Adults) et al.

 $ISP-54- \quad 6. \quad Effects \ of \ TNF-\alpha \ and \ IGF-I \ on \ proliferation \ and \ angiogenesis \ of \ BeWo \ cells \\ Kei \ Tanaka (Kyorin \ University) \quad et \ al.$

ISP-54- 7. The study for the effect of different diameter in bilateral umbilical arteries on the formation of umbilical twist

Masamitsu Nakamura (Showa University) et al.

11:10~11:50

Group 55 HDP 2

Chair: Tokyo Women's Medical University Masaki Ogawa

ISP-55- 1. Soluble endoglin-inhibited autophagy enhances LPS-inducing inflammasome production in peripheral blood of pregnant women

Akitoshi Nakashima (University of Toyama) et al.

ISP-55- 2. Association between birth weight and subsequent risk for hypertensive disorders of pregnancy

> Maiko Wagata (Tohoku University Tohoku Medical Megabank Organization) et al.

ISP-55- 3. A role of Sonic hedgehog pathway in preeclamptic placenta

Hiroshi Takai (Kvoto University) et al.

ISP-55- 4. Correlation between intracranial imaging by MRI and development at age of 3 in the children born from mothers with hypertensive disorders of pregnancy or spontaneous preterm birth

Tae Kusabiraki (University of Toyama) et al.

ISP-55- 5. A novel of biomarker profiles in experimental aged maternal mouse with hypertensive disorders of pregnancy

Kiichiro Furuya (Osaka University) et al.

ISP-55- 6. Risk Factors for Bleeding Complications after Cesarean Section among Preeclampsia Cases Followed by Postoperative Prophylactic Anticoagulation Naoya Tsujimoto (Tokyo Metropolitan Bokutoh Hospital) et al.

17:40~18:20

Group 56 Puberty/Menstrual disorder

ISP-56- 1. Examination of the influence of infectious stress in postnatal period on sexual behavior of male rats in adulthood

Mayila Yiliyasi (Tokushima University) et al.

ISP-56- 2. The influence of early life psychological stress on sexual maturation and on sexual activity in female rats

Kiyohito Yano (Tokushima University) et al.

ISP-56- 3. Nine cases of Turner syndrome with differences in menstrual abnormality and physical findings

Makiho Ishibashi (Fukushima Medical University) et al.

ISP-56- 4. Five patients with vaginal agenesis treated using non surgical vaginoplasty using uterine cervical dilators

Akiko Kawasaki (University of Tsukuba) et al.

ISP-56- 5. The retrospective analysis of 53 patients of primary amenorrhea

Yuri Miyahara (Okayama University) et al.

11:10~11:50

Group 57 ART 2

Chair: Nagoya University Akira Iwase

ISP-57- 1. The role of endometrial and uterine vascular status measurement in predicting pregnancy outcome in frozen thawed embryo transfer cycles

Byung Kyoo Park (Pusan National University Hospital, Korea) et al.

ISP-57- 2. Endometrial Receptivity Array: Retrospective Review of Reproductive
Outcomes Among Patients with Personalized Embryo Transfer (pET)

Justin Tan (University of British Columbia, Canada) et al.

ISP-57- 3. Retrospective study on the clinical efficacy of single embryo transfer (SET) for IVF-adverse cases; a single IVF center

Kaori Shinya (Nihon University) et al.

ISP-57- 4. Cases that needed GnRH agonist in artificial FET cycle

Yuri Yamamoto (Tokushima University) et al.

ISP-57- 5. Impact of ovarian stimulation protocols on perinatal outcomes in fresh singleembryo transfers: Analysis of 36,469 singleton deliveries in Japanese Assisted Reproductive Technology Registry between 2007 and 2013

Seungchik Jwa (Saitama Medical University) et al.

ISP-57- 6. A long-term cohort study on 3,509 babies born through assisted reproductive technology (ART) for 6 years of age

Kensuke Akitsu (Tokyo Medical University Hospital) et al.

ISP-57- 7. Hysteroscopy performed at mid-luteal period of previous cycle of ART treatment did not improve the uterine receptivity for embryo but might cause the over invasive examination

Kyoko Nishimura (Yamagata University) et al.

ISP-57- 8. Treatment outcome of In Vitro Fertilization—Embryo transfer in patients who have treated abnormal thyroid function

Chiaki Heshiki (University of the Ryukyus) et al.

17:40~18:20

Group 58 ART 3

Chair: Tokai University Shunichiro Izumi

ISP-58- 1. The comparison between mechanical and laser assisted hatching in Frozen-thawed blastocyst transfer cycles: A retrospective study of clinical outcomes Moosung Jo (Pusan National University Hospital of Korea, Korea) et al.

ISP-58- 2. The efficacy of in vitro Fertilization (IVF) in treating vaginismus causing infertility: a retrospective analysis of 13 cases

Ying-Wen Wang (Kaohsiung Chang Gung Memorial Hospital, Taiwan) et al.

ISP-58- 3. Shall we "Pause" PGS?

Shizuko Takahashi (The University of Tokvo) et al.

ISP-58- 4. A comparative retrospective study between controlled hyper-stimulation and mild-stimulation protocol for women with low AMH value

Rena Toriumi (Kyorin University Hospital) et al.

ISP-58- 5. The interval between oocyte retrievals was not correlated with the number of eggs retrieved

Takeshi Fukunaga (Yamagata University) et al.

ISP-58- 6. Successful delivery in a 44-year-old woman using vitrified human oocytes taken from the woman at 41 years of age

Miyako Funabiki (Oak Clinic) et al.

ISP-58- 7. Effect of resveratrol supplementation during embryo transfer on IVF outcomes in infertile women: a cross-sectional study

Asako Ochiai (Juntendo University Hospital) et al.

ISP-58- 8. A Study on the usefulness of hysteroscopy for ET repeated failure cases in ART Yusuke Fukuda (Toho University Omori Medical Center) et al.

Group 59 Reproductive physiology/Endocrinology 2

Chair: Yamagata University Jun Kawagoe

- ISP-59- 1. The regulation of endoplasmic reticulum stress improved the development of aged oocytes
 - Isao Takehara (Yamagata University) et al.
- ISP-59- 2. Novel antigens involved in ovarian autoimmunity in POI (primary ovarian insufficiency), and their localization and function in the human ovary

Satoko Osuka (Nagoya University) et al.

ISP-59- 3. The effects of chronic testosterone administration on body weight, food intake, and fat weight were changed age-dependently

Takeshi Iwasa (Tokushima University) et al.

ISP-59- 4. Impact of vitamin D supplementation on preconception immune tolerance in infertile women

Yuko Ikemoto (Juntendo University Hospital) et al.

ISP-59- 5. Effect of metformin on androgen receptor expression in endometrial epithelial/ stromal cell lines

Miki Ohara (Fukushima Medical University) et al.

ISP-59- 6. The Effectiveness of a New Comprehensive Numerical Multi-Scoring System for Endometriosis

Masao Ichikawa (Nippon Medical School Hospital) et al.

ISP-59- 7. Efficacy of individualized dose of FSH in ovarian stimulation for unexplained sterility

Toshiya Matsuzaki (Tokushima University) et al.

- ISP-59- 8. Comparison of Anti-Müllerian-Hormone levels between pregnant women with natural conception and sterile women in assisted reproductive technology

 Kento Usui (Toho University Omori Medical Center) et al.
- ISP-59- 9. Individualized initial dose in low-dose FSH therapy for WHO group 2 patients

Rie Yanagihara (Tokushima University) et al.

17:40~18:20

Group 60 Endometriosis 2

Chair: Toho University Omori Medical Center Mineto Morita

- ISP-60- 1. Dominant expression of angiotensin 1-7 receptor (MAS1) in the eutopic endometrium in the endometriosis patients
 - Takahiro Nakajima (Nihon University Itabashi Hospital) et al.
- ISP-60- 2. Clonal expansion and diversification of cancer-associated mutations in endometriosis and normal endometrium

Kazuaki Suda (Niigata University) et al.

ISP-60- 3. Treatment with a selective estrogen receptor modulator, SR-16234 results in regression of endometriosis-like lesions in a murine model

Khine Yinmon (Tottori University) et al.

- ISP-60- 4. Role of Focal Adhesion Kinase (FAK) in development of endometriosis
 Takashi Nagai (Nagova University) et al.
- ISP-60- 5. Peritoneal NK cell suppression for cytotoxicity and chemotaxis in women with endometriosis

Shimpei Yamamoto (Kochi University) et al.

11:10~11:50

Group 61 Women's health care

Chair: Kansai Medical University Katsuhiko Yasuda

- ISP-61- 1. Healthcare for young gynecologic malignant tumor patients at our hospital Kanako Yoshida (Tokushima University) et al.
- ISP-61- 2. Intraoperative Surgical Apgar Score predicts 30-day morbidity in elderly gynecological patients

Kazumi Kurata (University of Fukui) et al.

ISP-61- 3. The comparison of lower urinary tract symptoms after various surgeries for pelvic organ prolapse

Kaori Hoshino (Wakamatsu Hospital of the University of Occupational and Environmental Health) et al.

- ISP-61- 4. The restoration of vaginal front and posterior wall together is necessary with
 Native Tissue Repair in the case of grade III and IV of Pelvic Organ Prolapse
 Tetsuya Oishi (Takatsuki General Hospital) et al.
- ISP-61- 5. Four cases of Pelvic Organ Prolapse (POP) complicated with uterine cancer or precancerous lesion

Ayuko Otoshi (Osaka Police Hospital) et al.

ISP-61- 6. Repair of the Stage 3 POP That a Ring Pessary Made Giant Rectovaginal Fistulas and the Rectal Mucosa Covered the Posterior Vaginal Wall Beyond the Fistula: Operative Technique

Hiroki Kato (Takatsuki General Hospital) et al.

ISP-61- 7. Effects of drospirenone on adhesion molecule expression and monocyte adherence in human endothelial cells

Fumitake Ito (Kyoto Prefectural University of Medicine) et al.

ISP-61- 8. Levonorgestrel intrauterine system for previous delivery scar defect related postmenstrual bleeding management

Ying-Yi Chen (Kaohsiung Chang Gung Memorial Hospital and Chang Gung University College of Medicine, Taiwan) et al.

Group 62 Endometriosis 3/Adenomyosis

Chair: Tokyo Medical and Dental University Masakazu Terauchi

ISP-62- 1. Clinical features of Thoracic endometriosis: a series of 25 cases from a single facility

Shinya Fukuda (The University of Tokyo Hospital) et al.

- ISP-62- 2. Alteration of coagulation status in the patients with endometriotic cysts Kanoko Shoji (Nihon University Itabashi Hospital) et al.
- ISP-62- 3. Laparoscopic cystectomy of endometrioma (LC) followed by oral contraceptives (OC) until conception is desired: will this sustain later fecundability?
 Arisa Takeuchi (The University of Tokyo) et al.

ISP-62- 4. Dienogest therapy at the early stages of recurrence of endometrioma following

primary surgery suppresses the aggravation of the disease

Akemi Koshiba(Kyoto Prefectural University of Medicine) et al.

- ISP-62- 5. Validity of management against the endometriotic cyst: a retrospective study

 Takeharu Kido (Kansai Medical University) et al.
- ISP-62- 6. Long-term dienogest administration in patient with symptomatic adenomyosis

 Kazuaki Neriishi (The University of Tokyo Hospital) et al.
- ISP-62- 7. Unusual hyper-inflammatory degeneration of adenomyosis after cesarean section Atsushi Fusegi (Tokyo Metropolitan Tama Medical Center) et al.
- ISP-62- 8. Analysis of clinical problems in medical treatment for adenomyosis Minako Koizumi (Mitsui Memorial Hospital) et al.
- ISP-62- 9. Cystic adenomyoma uteri confused with LEGH in Diagnosis
 Yoko Tsuzuki (Teine Keijinkai Hospital) et al.

11:10~11:50

Group 63 Surgery 2

Chair: Fukushima Medical University Hiromi Komiya

ISP-63- 1. The size of endometrial polyps as predictors of spontaneous vanishing prior to surgical procedures: a retrospective analysis of hysteroscopic endometrial polypectomy

Eriko Yano (Teikyo University Hospital, Mizonokuchi) et al.

- ISP-63- 2. Analysis of the effect of microwave endometrial ablation for dysmenorrhea
 Yoshinobu Hamada (Dokkyo Medical University Saitama Medical Center) et al.
- ISP-63- 3. Two cases of combined medical and surgical management of rudimentary uterine horn pregnancy

Daisuke Suzuki (Fukushima Medical Center for Children and Women) et al.

- ISP-63- 4. Less invasive and easier vaginoplasty using laparoscopy and atelocollagen sponge Yoshiya Miyahara(Kobe University) et al.
- ISP-63- 5. The efficacy of laparoscopic omentectomy in patients with gynecological cancer
 Risa Yoshimoto (TOYOTA Memorial Hospital) et al.

ISP-63- 6. Two cases of surgically treated genital chronic graft-versus-host disease in females

Yasuhiko Kamada (Okayama University Hospital) et al.

ISP-63- 7. A retrospective review of re-laparoscopy cases due to postoperative bleeding after laparoscopic surgery: Sequential monitoring of intra-abdominal drainage volume and vital sign trend for prompt diagnosis and intervention

Keisuke Murakami (Juntendo University Hospital) et al.

ISP-63- 8. Two cases of perineal plastic operation for patients of persistent cloaca

Mayu Nagata (Kyushu University) et al.

ISP-63- 9. Tumorectomy for gynecological cancer recurrence: case series

Sen Wakahashi (Kobe University Hospital) et al.

ISP-63- 10. Women with Acute Abdomen and its Laparoscopic Management—Senerio in Developing country

Jyoti Chaube (St. Jude's Hospital, India) et al.

17:40~18:20

Group 64 Uterine leiomyoma 2

Chair: Saitama Medical University Ryugo Okagaki

ISP-64- 1. Subserosal Leiomyoma Complicated with Peritoneal Cysts Difficult to Differentiate from Brenner tumor of the Ovary

Masafumi Katakura (Toho University Omori Medical Center) et al.

ISP-64- 2. A case of Leiomyomatosis peritonealis desseminata (LPD)

Kana Kasai (Tokushima University) et al.

ISP-64 3. Effect of uterine artery embolization using by microspheres: review of 129 cases

Gen Ishikawa (Nippon Medical School) et al.

ISP-64- 4. Treatment outcomes of uterine artery embolization with microspheres for symptomatic fibroids: a single-center experience

Kyoso Ishida (Osaka University) et al.

ISP-64- 5. Introduction and Experience to Uterine Artery Embolization Yousuke Sakai (Tokyo Medical University Hospital) et al.